

**令和 7 年度
授業概要
SYLLABUS**

**国際医療福祉専門学校一関校
理学療法学科**

令和7年度 授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校

理学療法学科

科 目 名	生命倫理			授業区分	講義
学年・時期	1 年 前期	単位	2 単位	回数・時間数	15 回 （ 30 時間）
担当教員 mail	松村 一 h-matamura@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内 容	理学療法士（東八幡平病院、福島整肢療養園、リハビリライフ）	
一般目標(GIO)	いのちをテーマに生命の倫理について学ぶ				
行動目標(SBOs)	現代の生命科学と医療技術の進歩に対して、自ら調べ倫理的観点から自分の考えを述べる事ができる				
授業概要	1 文章を書く意味、作文と論文、小論文、 2 道徳と倫理 3 生殖医療 4 がんの告知とインフォームドコンセント 5 中絶と胎児の権利 6 能力・肉体の改造（エンハースメント） 7 終末期医療と安楽死 8 生体臓器移植 9 クーロン技術 10 ES 細胞と ips細胞 11 寿命と永遠の命 12 脳死と臓器移植 13 生きることと死ぬこと 14-15 まとめ				
学習方略(LS)	事前学習をもとにグループワークで他者の意見を聞き入れながら自分の意見が言える				
学習評価(EV)	グループワークの参加内容とプレゼンテーション、小論文で総評する				
単位認定の方法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	マンガで学ぶ生命倫理				
参考書	医療概論 医学書院				

令和7年度 授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校

理学療法学科

科 目 名	心理学			授業区分	講義
学年・時期	1 年 前期	単位	1 単位	回数・時間数	8 回 (15 時間)
担当教員 mail	下館 浩		実務経験 の 内 容	理学療法士(荻野病院、容生会、愛育会)	
一般目標(GIO)	・人の心について、知る。 ・心はわかりきることができないという事を解る。 ・心の深さを感じる。				
行動目標(SBOs)	・心理学についての概略を知る。 ・病理心理について理解する。 ・心療内科と精神科の対象の別を理解する。 ・心理テストを経験する。				
授業概要	1. 心について 2. 意識と無意識 3. 防衛機制 4. 病理心理 5. 心療内科と精神科の違い 6. 心理療法 7～8. 心理テストの実技体験 以上を知る。				
学習方略(LS)	・学生それぞれの実体験を引用しつつ、心理学を理解できるよう講義する。 ・心理テストは、YG 検査を体験する。				
学習評価(EV)	・期末試験は筆記で行う。				
単位認定の方法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2(実習においては5分の4)に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	・『はじめて出会う心理学』 有斐閣アルマ				
参考書	(特に指定しない)				

令和7年度 授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校

理学療法学科

科 目 名	教育学			授業区分	講義
学年・時期	1 年 前期	単位	1 単位	回数・時間数	8 回 (15 時間)
担当教員 mail	小原 拓也 t-obara@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内 容	理学療法士(介護老人保健施設シルバーヘルスー 関)	
一般目標(GIO)	教育の本質、目的、内容、方法、制度など、教育現象の様々な分野・問題について学習し、教育現象の全体的構造を統一的に「教育人間学」として把握する。				
行動目標(SBOs)	1 高等教育での自らの人間学の向上に役立てる。 2 教育の場において、自分自身を客観的に理解することができる。 3 社会教育、医学教育の理解を深める。				
授業概要	1 オリエンテーション 2 国家試験までの道 3 素敵な理学療法士とは 4 なぜ教育が必要か 5 ソーシャルメディア時代に求められること 6 教育ディベート 7 教わる事と教える事 8 学修とは				
学習方略(LS)	個人、グループの能動的な取り組みを期待する。				
学習評価(EV)	授業態度、グループワーク、プレゼンテーションで総合的に評価する。				
単位認定の方法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2(実習においては5分の4)に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	なし				
参考書	特になし				

令和7年度 授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校

理学療法学科

科 目 名	社会学			授業区分	講義
学年・時期	1 年 前期	単位	1 単位	回数・時間数	8 回 （ 15 時間）
担当教員 mail	佐々木 成大 sikisainoblues@gmail.com		実務経験 の 内 容	理学療法士(初富保健病院、介護老人保健施設やまゆり、介護老人保健施設さわり苑)	
一般目標(GIO)	一般社会の仕組みを理解しながら、様々な視点で物事を捉える力を身につける。				
行動目標(SBOs)	1. 社会について学び、自分もその一員であることを理解する。 2. 現代社会の特性を理解する。 3. 生活の多様性について理解する。 4. 人と社会の関係について理解する。 5. 社会問題とその背景について理解する。				
授業概要	1, 社会学とは何か 2, 理学療法士にどうしてなりたいたのか？人間の原理原則1 3, 人間の原理原則2 4, 命は地球より重いのか？生命至上主義、何を大切に生きるべきか？（指導者の条件） 5, 日本人の無気力とうつ 6, 社会を構造的に考える(民主主義、選挙の課題) 7, 社会を構造的に考える(WHO、高額医療費制度) 8, 社会を構造的に考える(病気の医療化、過剰医療問題)				
学習方略(LS)	授業は講義、プリント、ディスカッションにて実施する。 学生が調べて発表する課題も含まれる。				
学習評価(EV)	筆記試験等により総合的に評価する。				
単位認定の方法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が60点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2(実習においては5分の4)に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	なし 資料を配布				
参考書	適宜紹介する。				

令和7年度 授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校

理学療法学科

科 目 名	法 学			授業区分	講義
学年・時期	1 年 前期	単位	1 単位	回数・時間数	8 回 （ 15 時間）
担当教員 mail	工藤 英司 e-kudo@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内 容	理学療法士（南昌病院、函館新都市病院、角田病院、介護老人保健施設サンライフえさし）	
一般目標(GIO)	社会生活における身近な事例や、理学療法士・リハビリ職が遭遇する事件や法律の事例を挙げながら、自己の考えと他人の考えを理解し、自己の行動思考につなげていく。				
行動目標(SBOs)	1.法学の基礎的な仕組みと全体構造を他者に説明することができる 2.基本的な法分野に関心・問題意識を持って、学習を進めることができる 3.経済や経営に関係の深い法分野に関心・問題意識を持って、学習を進めることができる 4.社会的な問題について、自分の意見を表明することができる				
授業概要	1. ガイダンス、法と人間とのかかわり、法を学ぶ意義 2. 理学療法士に関する法 3. 法とは何か、規範としての法、道徳と区別される法 4. 法体系論の基礎知識、法の種類と構造 5. 法の定義、法律の分類、法規分類 6. 法の解釈、法律の本当の意味 7. 法の効力、範囲と土地と時 8. まとめ				
学習方略(LS)	授業は講義、ディスカッションにて実施する。学生が調べて発表する課題も含まれる。 テスト後、復習講義を実施する。				
学習評価(EV)	レポートおよび取組態度にて評価する。				
単位認定の方法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が60点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2(実習においては5分の4)に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	特になし 資料を配布				
参考書	理学療法士ガイドライン（公益社団法人日本理学療法士協会）				

令和7年度 授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校

理学療法学科

科 目 名	対人関係論			授業区分	講義(演習含み)
学年・時期	1 年 前期	単位	1 単位	回数・時間数	8 回 (15 時間)
担当教員 mail	下館 浩		実務経験 の 内 容	理学療法士(荻野病院、容生会、愛育会)	
一般目標(GIO)	理学療法士に必要なコミュニケーションスキルを身につけてることが出来る。				
行動目標(SBOs)	相手と良好な関係性を築くという意図をもってなされる、双方向の意思疎通のプロセスができる。				
授業概要	1.社会で働くために必要な力について 2.伝える・伝わるコミュニケーション、コミュニケーションのタイプ 3.コミュニケーションのタイプ 4.コミュニケーションにおける解決と解消 5.職場や臨床現場でのコミュニケーション 6.医療安全のためのコミュニケーション 7.ミーティングのためのコミュニケーション 8.メンタルヘルスとコミュニケーション				
学習方略(LS)	・基本的には座学で。動画や読書テキストを利用する。				
学習評価(EV)	・提出物の内容。人について、自分についての理解度の深まりを評価する。				
単位認定の方法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が60点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2(実習においては5分の4)に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	(不要です)				
参考書	適宜紹介する				

令和7年度 授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校

理学療法学科

科 目 名	物 理			授業区分	講義
学年・時期	1 年 後期	単位	1 単位	回数・時間数	8 回 （ 15 時間）
担当教員 mail	下館 浩		実務経験 の 内 容	理学療法士（荻野病院、容生会、愛育会）	
一般目標(GIO)	・理学療法に必要な物理学がわかること。				
行動目標(SBOs)	下記1～8について説明できる				
授業概要	1. 三角関数 2. 速度と加速度 3. 神経伝導速度 4. 力と仕事 5. ベクトル 6. てこの原理・計算 7. 滑車と輪軸 8. 回転運動のトルクと仕事率				
学習方略(LS)	・座学、物理学の基礎を主体に講義。				
学習評価(EV)	・期末試験は、筆記試験とする。				
単位認定の方法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	・『PT/OT 国家試験対策ワークブック計算問題』 医歯薬出版株式会社				
参考書	（特に指定しない）				

令和7年度 授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校

理学療法学科

科 目 名	情報科学			授業区分	講義(演習含み)
学年・時期	1 年 前期	単位	1 単位	回数・時間数	8 回 (15 時間)
担当教員 mail	工藤 英司 e-kudo@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内 容	理学療法士(南昌病院、函館新都市病院、角田病院、介護老人保健施設サンライフえさし)	
一般目標(GIO)	医療人(社会人)が共通に備えておきたいコンピューター操作関連などの基礎的知識を理解していく				
行動目標(SBOs)	1. コンピューターの基礎的操作やデータの処理等を理解する 2. IT社会の情報を的確に捉えるよう収集できる能力を身に付ける				
授業概要	1. ガイダンス、オリエンテーション 2. データの取扱い【個人、企業情報の保護と注意事項】 3. データの処理法【Excel を用いた処理】 4. コンピューターの基本操作とデータの入力・編集 5. コンピューター 上での文章入力、Windows 上のインターネットブラウザ利用の速やかな操作ができる 6. 文書作成ソフトを使用し、見やすく体裁の整った文書やレポートを作成できる① 7. 文書作成ソフトを使用し、見やすく体裁の整った文書やレポートを作成できる② 8. 表計算ソフトを使用し、数式や書式設定を応用した表やグラフを作成・操作できる				
学習方略(LS)	授業は講義や各自パソコンを使用してインターネットの利用、文書の作成等が含まれる				
学習評価(EV)	レポートおよび取組態度で評価する。				
単位認定の方法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2(実習においては5分の4)に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	なし 資料を配布				
参考書	適宜紹介する				

令和7年度 授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校

理学療法学科

科 目 名	保健体育 I			授業区分	講義(実技含み)
学年・時期	1 年 前期	単位	2 単位	回数・時間数	15 回 (30 時間)
担当教員 mail	小原 拓也 t-obara@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内 容	理学療法士(介護老人保健施設シルバーヘルスー 関)	
一般目標(GIO)	スポーツを通じて、身体を動かすことの大切さを学習する事ができる。				
行動目標(SBOs)	1 体育及びレクリエーション活動の社会的意義を理解する。 2 体育及びレクリエーション活動の基本的原則について理解する。 3 体育及びレクリエーション活動援助の実技を通じて計画作成能力・実践能力を習得向上させる。				
授業概要	1 トレーニングの原則 スポーツ外傷とスポーツ障害(総論) 2 競技調べ(発表含む) 3 ラジオ体操(発表含む) 視覚聴覚を用いたレクリエーション 4 ストレッチング 5 スポーツ外傷とスポーツ障害(各論) RICE 処置 6 体力テスト① 握力 上体起こし 7 体力テスト② 反復横とび 立ち幅とび 8 バスケットボール 9 バレーボール 10 バドミントン 11 バスケットボール 12 バレーボール 13 バドミントン 14 テーピング 15 まとめ ※実技の際は、ジャージ、シューズ、水分持参。				
学習方略(LS)	講義、実技。 学生が調べて発表する課題も含まれる。				
学習評価(EV)	授業態度、グループワーク、発表で総合的に評価する。				
単位認定の方法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2(実習においては5分の4)に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	なし				
参考書	適宜紹介する				

令和7年度 授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校

理学療法学科

科 目 名	保健体育Ⅱ			授業区分	講義(実技含み)
学年・時期	1 年 後期	単位	1 単位	回数・時間数	8 回 (15 時間)
担当教員 mail	小原 拓也 t-obara@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内 容	理学療法士(介護老人保健施設シルバーヘルスー 関)	
一般目標(GIO)	競技特性の理解と特性から見る疾患について把握する。				
行動目標(SBOs)	実技、及び演習を中心とした授業を実施するため、積極的に参加することを期待する。				
授業概要	1 体力 原理原則 負荷のかけ方 筋収縮形態 2 筋力トレーニング 3 筋力トレーニング(実技発表) 4 持久力増強運動 5 シャトルラン 6 ボッチャ(事前学習) 7 ボッチャ(実技) 8 練習メニューの立案演習				
学習方略(LS)	講義、実技。 学生が調べて発表する課題も含まれる。				
学習評価(EV)	授業態度、筆記試験、実技発表、グループワークで総合的に評価する。				
単位認定の方法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2(実習においては5分の4)に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	なし				
参考書	適宜紹介する				

令和7年度 授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校

理学療法学科

科 目 名	英 語			授業区分	講義
学年・時期	1年 前期	単位	2 単位	回数・時間数	15 回 （ 30 時間）
担当教員 mail	菊池 敦子		実務経験 の 内 容	英国留学、語学教育学(英語・日本語)修士。英会話スクール、大学、市民センター等で指導。通訳、翻訳	
一般目標(GIO)	・医療現場で使用する英語の基礎を学ぶ。簡単な英語で患者とコミュニケーションができるようになる。英語で必要な情報を集める能力を身に付ける。				
行動目標(SBOs)	・医療に関する英語表現を学ぶ。 ・相手の立場に立ったシンプルで分かりやすいコミュニケーションを身につける。				
授業概要	1 自己紹介、体の部位、文法の基礎 2 体の部位、英語の受付表、文法の基礎 3 医療英単語、患者とのコミュニケーション1(症状) 4 医療英単語、患者とのコミュニケーション2(リハビリテーション) 5 英語の問診票、患者とのコミュニケーション3(言葉をかける) 6 英語の問診表、患者とのコミュニケーション4(病院内の説明) 7 英文の読み方(情報を分類する)、医療英単語 8 リスニングの練習 9 リスニングの練習 10 理学療法士に関する英文を読む 11 英語の勉強方法、英語で検索する、英文を書く 12 患者とのコミュニケーション5(会話を組み立てる) 13 患者とのコミュニケーション6(復習) 14 理学療法士に関する英文を読む 15 復習、まとめ				
学習方略(LS)	授業は講義、ロールプレイ、プロジェクトワーク等により実施する。				
学習評価(EV)	筆記試験70%、取り組み態度30%により総合的に評価する。				
単位認定の方法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が60点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2(実習においては5分の4)に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	特になし 資料を配布				
参考書					

令和7年度 授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校

理学療法学科

科 目 名	解剖学Ⅰ			授業区分	講義
学年・時期	1 年 前期	単位	1 単位	回数・時間数	15 回 （ 30 時間）
担当教員 mail	松村 一 h-matamura@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内 容	理学療法士（東八幡平病院、福島整肢療養園、リハビリライフ）	
一般目標(GIO)	人体の骨と筋肉を理解する				
行動目標(SBOs)	①下記1～14について説明できる ②国家試験問題を解き、出題ポイントを理解できる				
授業概要	1 解剖学用語と人体の区分を説明できる 2 頭部・脊柱を構成する骨名を説明できる 3 体幹を構成する骨名を説明できる 4 上肢を構成する骨名を説明できる 5 下肢を構成する骨名を説明できる 6 関節と靱帯のしくみを説明できる 7 頭部・脊柱の関節靱帯を説明できる 8 体幹・上肢・下肢の関節靱帯を説明できる 9 体幹の筋名を説明できる 10 上肢の筋名を説明できる 11 下肢の筋名を説明できる 12 骨格筋の構造、筋収縮・筋線維のしくみを説明できる 13 骨のしくみを説明できる 14 発生と細胞と組織を説明できる 15 過去国家試験問題解説				
学習方略(LS)	授業は講義、演習を用いて実施する。				
学習評価(EV)	中間試験と期末試験で評定する				
単位認定の方法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が60点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2(実習においては5分の4)に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	「ビジュアルテキスト解剖学」「解剖学」「病気がみえる脳・神経」「基礎固めヒント式トレーニング				
参考書	配布する資料				

令和7年度 授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校

理学療法学科

科 目 名	解剖学Ⅰ			授業区分	講義
学年・時期	1年 後期	単位	1 単位	回数・時間数	15 回 （ 30 時間）
担当教員 mail	松村 一 h-matamura@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内 容	理学療法士（東八幡平病院、福島整肢療養園、リハビリライフ）	
一般目標(GIO)	主に中枢神経系の構造と神経伝導路、支配筋、自律神経について理解できる				
行動目標(SBOs)	①下記1～14について説明できる ②国家試験問題を解き、出題ポイントを理解できる				
授業概要	1 神経の構造と発生を説明できる 2 大脳皮質・大脳基底核・大脳辺縁系・脳室を説明できる 3 脳幹を説明できる 4 小脳を説明できる 5 脊髄を説明できる 6 末梢神経の細胞、興奮、シナプス伝導、運動単位等を説明できる 7 上行性伝導路(錐体路、錐体外路等)を説明できる 8 下行性伝導路(感覚神経等)を説明できる 9 頸神経叢と腕神経叢を説明できる 10 上肢の神経と筋支配を説明できる 11 腰神経叢と仙骨神経叢を説明できる 12 下肢の神経と筋支配を説明できる 13 脳神経を説明できる 14 自律神経を説明できる 15 感覚器(臭覚・味覚・聴覚等)を説明できる				
学習方略(LS)	授業は講義、演習を用いて実施する。				
学習評価(EV)	中間試験と期末試験で評定する				
単位認定の方法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が60点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2(実習においては5分の4)に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	「ビジュアルテキスト解剖学」「解剖学」「病気がみえる脳・神経」「基礎固めヒント式トレーニング				
参考書	配布する資料				

令和7年度 授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校

理学療法学科

科 目 名	解剖学Ⅱ			授業区分	講義
学年・時期	1 年 前・後期	単位	2 単位	回数・時間数	30 回 （ 60 時間）
担当教員 mail	田崎裕紀		実務経験 の 内 容	歯科医師（東京歯科大学生理学講座、国際医療福祉専門学校）	
一般目標(GIO)	理学療法学の基礎となる、系統解剖学、局所解剖学を学び理解することができること。				
行動目標(SBOs)	・基本的な解剖構造と名称が説明できること。 ・解剖学的用語を用いて説明できること。				
授業概要	「内臓学」 1. 内臓器官の構造 2. 消化器系 3. 呼吸器系 4. 循環器系 5. 泌尿器系 6. 生殖器系 7. 内分泌系				
学習方略(LS)	理学療法士になるためには、能動的な復習や予習が必須。				
学習評価(EV)	小テスト結果、及び前期テスト結果で総合評価する				
単位認定の方法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が60点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2(実習においては5分の4)に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	標準理学療法学・作業療法学解剖学 第4版				
参考書	カラー人体解剖学(西村書店) 系統看護学講座 解剖生理学(医学書院) 人体解剖カラーアトラス				

令和7年度 授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校

理学療法学科

科 目 名	生理学 I			授業区分	講義	
学年・時期	1 年	前・後期	単位	2 単位	回数・時間数	30 回 （ 60 時間）
担当教員 mail	田崎裕紀			実務経験 の 内 容	歯科医師（東京歯科大学生理学講座、国際医療福祉専門学校）	
一般目標(GIO)	医学、および理学療法の基礎となる生理学を学び・理解する。					
行動目標(SBOs)	基礎解剖学を踏まえ、細胞、組織、器官の機能を学び・理解し、説明することが出来る。					
授業概要	1. 生命現象と人体 (P3～P11) 2. 細胞の構造と機能 (P13～P16) 3. 神経の興奮伝導と末梢神経(P19～P28) 4. 中枢神経 (P30～P46) 5. 筋と骨 (P49～P164) 6. 感覚 (P66～P77) 7. 血液 (P81～P94) 8. 心臓と循環 (P96～P122) 9. 呼吸とガスの運搬 (P124～P135) 10. 尿の生成と排泄 (P137～P145) 11. 酸塩基平衡 (P147～P148) 12. 消化と吸収 (P150～P160) 13. 内分泌 (P162～P174) 14. 代謝と体温 (P177～P186) 15. 生殖と発生 (P188～P198) 16. 運動生理 (P201～P206)					
学習方略(LS)	理学療法士になるためには、能動的な復習や予習が必須。					
学習評価(EV)	授業で行った講義の小テスト、中間テストを行う。小テスト結果および前期テスト結果で評価する。					
単位認定の方法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2(実習においては5分の4)に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。					
教科書	標準理学療法学・作業療法学「生理学」 第 5 版					
参考書	系統看護学講座「解剖学生理学」					

令和7年度 授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校

理学療法学科

科 目 名	生理学Ⅱ			授業区分	講義(演習含み)
学年・時期	1 年 後期	単位	1 単位	回数・時間数	15 回 (30 時間)
担当教員 mail	佐藤 武諭毅 takeyuki.sato@1st-emg.com		実務経験 の 内 容	救急救命士(国際医療看護福祉大学校(旧国際メ ディカルテクノロジー専門学校)、株式会社ファース トエマージェンシー)	
一般目標(GIO)	循環器系および呼吸器系のメカニズムを理解できる				
行動目標(SBOs)	①循環器系および呼吸器系の正常と異常を理解できる(血液データ、呼吸データ、心電図等) ②心肺蘇生法を理解し、実践できる ③人工呼吸器を理解できる				
授業概要	①心臓の構造 ②心臓の興奮(刺激)伝導系・心臓の神経支配・ ③心電図と心電図のみかた ④心音のみかた ⑤血管の構造と構造、血液の循環 ⑥血圧 ⑦水分代謝 ⑧血液の働きと血液細胞とその種類 ⑨呼吸器系の構造 ⑩呼吸のメカニズム(呼吸運動、外呼吸・内呼吸、ガス交換・ガス運搬) ⑪肺容量と呼吸調節(呼吸性アルカローシス・アシドーシス、代謝性アシドーシス、酸塩基平衡) ⑫動脈血ガス分析 ⑬フィジカルアセスメント ⑭心肺蘇生法(実技も含む)) ⑮人工呼吸器(NPPV も含む)の種類と使い方、モニターのみかた、管理				
学習方略(LS)	理学療法士になるためには、能動的な復習や予習が必須。				
学習評価(EV)	授業で行った講義の小テスト、中間テストを行う。小テスト結果および前期テスト結果で評価する。				
単位認定の方法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2(実習においては5分の4)に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	標準理学療法学・作業療法学「生理学」 第 5 版				
参考書	系統看護学講座「解剖学生理学」				

令和7年度 授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校

理学療法学科

科 目 名	薬理学			授業区分	講義
学年・時期	2 年 後期	単位	1 単位	回数・時間数	15 回 (30 時間)
担当教員 mail	佐藤 武諭毅 takeyuki.sato@1st-emg.com		実務経験 の 内 容	救急救命士(国際医療看護福祉大学校(旧国際メディカルテクノロジー専門学校)、株式会社ファーストエマージェンシー)	
一般目標(GIO)	・医療現場で必要な薬理に関する事を理解する。特に理学療法士として必要な末梢神経作動薬、中枢神経作動薬を中心に薬物がもたらす効果および副作用を理解する。				
行動目標(SBOs)	・薬物一般に共通する知識を理解する。 ・薬物の投与経路、作用、副作用について理解する。				
授業概要	1. オリエンテーション、薬理学総論 2. 薬が作用する仕組み(薬力学) 3. 薬の体内挙動(薬物動態学) 4. 薬物相互作用(吸収・分布・代謝・排泄) 5. 神経系による情報伝達 6. 自律神経系作用薬 7. 交感神経作用薬(アドレナリン作動薬、抗アドレナリン薬) 8. 副交感神経作用薬(コリン作用薬、抗コリン薬) 9. 筋弛緩薬、局所麻酔薬 10. 中枢神経系のはたらきと薬物 11. 催眠薬、抗不安薬 12. 抗精神病薬、抗うつ薬、気分安定薬 13. パーキンソン症候群治療薬、抗てんかん薬 14. 循環器系に作用する薬物 15. まとめ				
学習方略(LS)	イメージや既知の知識を加え、学習教材を覚えやすい形に変換し本人の認知構造に関連付ける。また個人の能動的な取り組みを期待する。				
学習評価(EV)	最終試験(筆記試験)で総評する。				
単位認定の方法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2(実習においては5分の4)に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	系統看護学講座 専門基礎分野 薬理学(疾病のなりたちと回復の促進③) 吉岡充弘 他「医学書院」				
参考書					

令和7年度 授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校

理学療法学科

科 目 名	病理学			授業区分	講義
学年・時期	2 年 前期	単位	1 単位	回数・時間数	15 回 （ 30 時間）
担当教員 mail	松村 一 h-matamura@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内 容	理学療法士（東八幡平病院、福島整肢療養園、リハビリライフ）	
一般目標(GIO)	病理学は、病気はどういう原因で、体にどういう変化を起こすかという事を学ぶ学問です 解剖学や生理学の知識をもとに病気について学んでください				
行動目標(SBOs)	病気のメカニズムを学ぶ際に多数の医療用語と意味を覚える事が重要となります。				
授業概要	1病理学で学ぶこと 2細胞・組織の損傷と修復、炎症 3免疫、感染症 4循環障害・代謝障害 5老化と死・先天異常と遺伝疾患 6腫瘍 7循環器疾患 8血液・造血器系疾患 9呼吸器系疾患 10 消化器系疾患 11 腎・泌尿器、生殖器、乳腺疾患 12 内分泌系疾患 13 脳・神経・筋肉疾患 14 骨・関節疾患 15 眼・耳・皮膚疾患				
学習方略(LS)	教科書と基礎から学ぶ病理学ノートを併用しながら、授業を進めていきます。 また、国家試験問題を解きながら理解度を深めていきましょう				
学習評価(EV)	中間試験と期末試験で評定する				
単位認定の方法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	病理学 疾病の成り立ちと回復の促進、 基礎から学ぶ病理学ノート				
参考書	配布資料				

令和7年度 授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校

理学療法学科

科 目 名	人間発達学			授業区分	講義
学年・時期	2年 前期	単位	1 単位	回数・時間数	15 回 (30 時間)
担当教員 mail	松村 一 h-matumura@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内 容	理学療法士(東八幡平病院、福島整肢療養園、リハビリライフ)	
一般目標(GIO)	・誕生から死までの全生涯のライフスタイルを通して、人間がどのように発達していくかを学ぶ。				
行動目標(SBOs)	人間がどのように発達するか、どのような要因が発達に影響するかを説明できる 1 正常発達について説明できる 2 発達検査について説明できる 3 姿勢反射について説明できる 4 各期発達について説明できる 5 遊びについて説明できる				
授業概要	1運動発達 2評価 3発達理論 4原始反射と検査方法、意義 5立ち直り反射と平衡反応 6遊びについて 7学童期・青年期・成人・老年期の発達 8小児の歩行 9座位の目的・意義、種類、必要条件、座位バランス 10国家試験問題解説				
学習方略(LS)	図や動画を取り入れ正常発達をイメージしながら学習する事				
学習評価(EV)	レポートと筆記試験にて評定する				
単位認定の方法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が60点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2(実習においては5分の4)に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	小児理学療法学テキスト(南江堂 PT・OTビジュアルテキスト 小児理学療法学(羊土社)				
参考書	配布資料				

令和7年度 授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校

理学療法学科

科 目 名	臨床心理学			授業区分	講義
学年・時期	2 年 前期	単位	1 単位	回数・時間数	15 回 （ 30 時間）
担当教員 mail	千葉 崇弘 baachii52@gmail.com		実務経験 の 内 容	臨床心理士（仙台市スクールカウンセラー、岩手県沿岸南部教育事務所スクールカウンセラー）	
一般目標(GIO)	・臨床心理学の基礎知識を理解し、コミュニケーション・対人理解に応用できること				
行動目標(SBOs)	臨床心理学のものの見方、言葉を用いることができるようになる。				
授業概要	以下の大項目について学習を進めていく 第Ⅰ部 臨床心理学の扉を開く—臨床心理学とは— 第Ⅱ部 心理援助の実際にふれる—事例に学ぶ問題の理解とかかわり— 第Ⅲ部 心理援助の基礎を学ぶ—発達・人格理論— 第Ⅳ部 対象を理解する—心理アセスメント— 第Ⅴ部 心理援助の方法を知る—心理療法—				
学習方略(LS)	講義の聴講と体験学習を通して臨床心理学の知識・技術を習得する				
学習評価(EV)	小テスト、最終テスト、レポート、授業態度を総合的に評価し、判断する				
単位認定の方法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が60点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	心とかかわる臨床心理 第3版				
参考書					

令和7年度 授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校

理学療法学科

科 目 名	公衆衛生学			授業区分	講義
学年・時期	2 年 前期	単位	1 単位	回数・時間数	15 回 （ 30 時間）
担当教員 mail	小原 拓也 t-obara@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内 容	理学療法士(介護老人保健施設シルバーヘルスー 関)	
一般目標(GIO)	医療職種として必要な公衆衛生の基礎を理解できる				
行動目標(SBOs)	1 健康の理解ができる 2 持続可能な健康支援の構築が理解できる 3 公衆衛生学の知識を用いながら、対象者へ介入できるようになる。				
授業概要	1 公衆衛生学とリハビリテーション 2 公衆衛生学とリハビリテーション 3 公衆衛生学の基礎知識 4 公衆衛生学の基礎知識 5 公衆衛生活動の基盤 6 公衆衛生活動の基盤 グループ活動 7 公衆衛生活動の実際 8 公衆衛生活動の実際 グループ活動 9 公衆衛生活動の実際 グループ活動 10 公衆衛生活動の実際 発表 11 公衆衛生活動の実際 発表 12 公衆衛生活動の拡がり 13 公衆衛生活動の理解を深める 14 公衆衛生活動の理解を深める 15 まとめ				
学習方略(LS)	講義、グループ活動、発表				
学習評価(EV)	授業態度、期末試験、グループワーク、発表で総合的に評価する。				
単位認定の方法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2(実習においては5分の4)に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	Cross Link リハビリテーションテキスト 公衆衛生学				
参考書	適宜紹介する。				

令和7年度 授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校

理学療法学科

科 目 名	医学概論			授業区分	講義
学年・時期	1 年 前期	単位	1 単位	回数・時間数	15 回 (30 時間)
担当教員 mail	松村 一 h-matamura@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内 容	理学療法士(東八幡平病院、福島整肢療養園、リハビリライフ)	
一般目標(GIO)	医療従事者として「医学」とは何かについて学ぶ				
行動目標(SBOs)	医学に関する専門用語を理解しながら、理学療法士としての関りを理解できる				
授業概要	1 医学とは 2 医学の体系(基礎医学・臨床医学・看護学等)と 医学の歴史 3 医療従事者の資質・医の心 4 医療従事者とチーム医療 5 倫理とは 6 ジュネーブ宣言・リスボン宣言 7 ヘルシンキ宣言 8 インフォームドコンセント 9 医療安全(医療事故と医療過誤) 10 科学とEBM 11 病気とは・障害とは 12 リハビリテーション医学とは 13 リハビリテーションに関わる職種 14 理学療法士の役割 15 まとめ				
学習方略(LS)	用語の意味を理解しながら、ノートにまとめることを意識して学習してください。				
学習評価(EV)	筆記試験により総合的に評価する。				
単位認定の方法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が60点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2(実習においては5分の4)に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	医療概論 医学書院				
参考書	配布する資料				

令和7年度 授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校

理学療法学科

科 目 名	老年学			授業区分	講義
学年・時期	1 年 後期	単位	1 単位	回数・時間数	15 回 （ 30 時間）
担当教員 mail	小原 拓也 t-obara@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内 容	理学療法士(介護老人保健施設シルバーヘルスー 関)	
一般目標(GIO)	加齢に伴う老年期の特徴について学ぶ。				
行動目標(SBOs)	1～14 を簡潔に説明できる。				
授業概要	1 老化 加齢に伴う変化(運動機能) 2 精神心理面 3 意識障害 失神 認知機能障害 せん妄 抑うつ 不眠 4 加齢に伴う変化(生理機能) めまい しびれ 5 言語障害 腰痛 歩行障害 転倒 6 尿失禁 便秘 寝たきり 廃用症候群 フレイル 7 骨粗鬆症 8 転倒(グループワーク) 9 変形性関節症 腰部脊柱管狭窄症 関節リウマチ 10 神経疾患 11 認知症と精神疾患 12 糖尿病 感染症 13 呼吸器疾患 14 循環器疾患 15 国家試験問題				
学習方略(LS)	生理学や解剖学と一緒に学習してください。				
学習評価(EV)	筆記試験、授業態度、発表で総合的に判断。				
単位認定の方法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2(実習においては5分の4)に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	標準理学療法学・作業療法学 老年学 第 6 版 医学書院				
参考書	配布資料				

令和7年度 授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校

理学療法学科

科 目 名	内科学			授業区分	講義
学年・時期	2 年 前期	単位	1 単位	回数・時間数	15 回 （ 30 時間）
担当教員 mail	佐々木絵里		実務経験 の 内 容	看護師(一関病院)	
一般目標(GIO)	広く、リハビリテーションと関わりの深い内科疾患と老年学を学び、理解する。				
行動目標(SBOs)	リハビリテーションと関わりの深い内科疾患について、説明することができる。				
授業概要	1閉塞性・拘束性換気障害(COPD,間質性肺炎、肺線維症等) 2在宅酸素療法(HOT) 3虚血性心疾患・心不全・心弁膜症・先天性心疾患 4心筋疾患・心膜炎・肺性心・肺高血圧症・肺塞栓 5大動脈疾患・末梢血管疾患 6急性腎不全・慢性腎不全 7糖・脂質代謝疾患(糖尿病、低血糖、脂質異常、痛風等) 8代表的な悪性腫瘍 9貧血症・多血症・白血病・悪性リンパ腫・出血性疾患 10自己免疫疾患、膠原病・類似疾患・免疫不全症候群 11内分泌疾患(視床下部、下垂体、甲状腺、副甲状腺、副腎皮質・髄質、性腺疾患) 12口腔・食道・胃疾患 13小腸・大腸疾患 14肝・胆嚢・胆道・膵臓疾患 15過去国家試験問題解説				
学習方略(LS)	理学療法士になるためには、能動的な復習や予習が必須。				
学習評価(EV)	ペーパーテストで評価する				
単位認定の方法 及び基準	・通年科目のため、本教科では 180 点以上(300 満点中)を合格とする。 修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2(実習においては5分の4)に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	なるほどなっとく！内科学 改訂3版				
参考書	配布資料等				

令和7年度 授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校

理学療法学科

科目名	整形外科学			授業区分	講義(演習含み)
学年・時期	1年 前期	単位	1 単位	回数・時間数	15 回 (30 時間)
担当教員 mail	三谷 典生 n-mitani@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内 容	t	
一般目標(GIO)	整形外科学疾患の概要を中心に学び、病態と治療法、リハビリテーションを理解する。				
行動目標(SBOs)	リハビリテーションと関わりの深い整形外科疾患について、説明することができる。 疾患から生じる運動機能障害、病態生理を理解することができる。				
授業概要	1整形外科基礎知識 (国家試験の概要と出題範囲に照らし合わせて) 2整形外科基礎知識 (骨・関節に関して、筋の構造に関して) 3骨格筋の性質、筋肥大のメカニズム、収縮の種類に関して 4神経系の基本構造、先天性疾患、変形の種類 5運動の評価及び検査 6歩行周期と異常歩行 7整形外科的治療法 8炎症性疾患(感染性と非感染性、関節リウマチ 9代謝・内分泌・退行性疾患 10先天性骨関節疾患 11循環障害・壊死疾患 12骨軟部腫瘍・神経筋疾患 13脊椎疾患 14前期履修範囲の復習① 15前期履修範囲の復習②				
学習方略(LS)	・教科書のスライドプロジェクション、プリントより実施、VTR教材も使用し具体的なイメージを深める ・次回授業分を事前学習すること ・各講義終了後は学習の振り返りとしてclassroomにてレポートを提出すること ・適宜、グループワークにて学生が調べて発表する課題も取り入れて行う				
学習評価(EV)	・レポート(前期-後期講義の合計15回): 点数割合: 30点(全体の10%) ・前期期末試験: 点数割合: 90点(4つの試験合算で全体の90%)(※テスト方式詳細は事前に掲示) ・後期期末試験: 点数割合: 90点 ・上肢実技試験: 点数割合: 45点 ・下肢実技試験: 点数割合: 45点				
単位認定の方法 及び基準	・通年科目のため、本教科では180点以上(300満点中)を合格とする。 修了試験結果が60点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2(実習においては5分の4)に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	標準理学療法学・作業療法「整形外科学」第5版				
参考書	配布資料(教科書の補填部分)				

令和7年度 授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校

理学療法学科

科 目 名	整形外科学			授業区分	講義(実技含み)
学年・時期	1 年 後期	単位	1 単位	回数・時間数	15 回 (30 時間)
担当教員 mail	三谷 典生 n-mitani@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内 容	理学療法士(衣笠病院、一関病院)	
一般目標(GIO)	整形外科学疾患の概要を中心に学び、病態と治療法、リハビリテーションを理解する。				
行動目標(SBOs)	リハビリテーションと関わりの深い整形外科疾患について、説明することができる。 疾患から生じる運動機能障害、病態生理を理解することができる。				
授業概要	16 骨折 (原因分類、程度分類、骨折線、症状、合併症) 17 骨折 (治療、治癒と経過) 18 骨折 (上肢、体幹、下肢) 19 脊髄損傷 (疾患概要、VTR 学習) 20 脊髄損傷(伝導路と膀胱障害、髄節の解釈) 21 外傷 (捻挫、脱臼、アライメントの評価) 22 末梢神経における外傷性疾患 23 腱・靱帯における外傷性疾患 24 スポーツ傷害、熱傷 25 切断 26 後期履修範囲の復習① 27 後期履修範囲の復習② 28 触診方法のイントロダクション 29 肩甲骨・鎖骨 30 上腕骨・橈骨・尺骨				
学習方略(LS)	・教科書のスライドプロジェクション、プリントより実施、VTR 教材も使用し具体的なイメージを深める ・次回授業分を事前学習すること ・各講義終了後は学習の振り返りとして classroom にてレポートを提出すること ・適宜、グループワークにて学生が調べて発表する課題も取り入れて行う				
学習評価(EV)	・レポート(前期-後期講義の合計 15 回): 点数割合: 30 点(全体の 10%) ・前期期末試験: 点数割合: 90 点(4つの試験合算で全体の 90%) (※テスト方式詳細は事前に掲示) ・後期期末試験: 点数割合: 90 点 ・上肢実技試験: 点数割合: 45 点 ・下肢実技試験: 点数割合: 45 点				
単位認定の方法 及び基準	・通年科目のため、本教科では 180 点以上(300 満点中)を合格とする。 修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2(実習においては5分の4)に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	運動療法のための機能解剖学的触診技術動画プラス 上肢、下肢/体幹 (メジカルビュー社) (後半のコマより触診の授業へ移行、使用時には事前に通知する)				
参考書	配布資料(教科書で分かりづらい部分はセッションごとに配布)				

令和7年度 授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校

理学療法学科

科 目 名	整形外科学			授業区分	講義(実技含み)
学年・時期	1 年 後期	単位	1 単位	回数・時間数	15 回 (30 時間)
担当教員 mail	三谷 典生 n-mitani@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内 容	理学療法士(衣笠病院、一関病院)	
一般目標(GIO)	整形外科学疾患の概要を中心に学び、病態と治療法、リハビリテーションを理解する。				
行動目標(SBOs)	リハビリテーションと関わりの深い整形外科疾患について、説明することができる。 疾患から生じる運動機能障害、病態生理を理解することができる。				
授業概要	31 手根骨・指骨 32 肩関節複合体に関連する靱帯、肩甲上腕関節に関わる筋 33 肩甲胸郭関節に関わる筋 34 肘関節に関わる筋 35 手関節および手指に関わる筋 36 上肢履修範囲の復習 37 骨盤・大腿骨 38 膝周辺・足関節および足部周辺 39 足関節および足部周辺 40 下肢の靱帯 41 股関節に関わる筋 42 膝関節に関わる筋 43 足関節および足部に関わる筋 44 胸郭に関連する諸組織 45 脊柱に関連する諸組織				
学習方略(LS)	・教科書のスライドプロジェクション、プリントより実施、VTR 教材も使用し具体的なイメージを深める ・次回授業分を事前学習すること ・各講義終了後は学習の振り返りとして classroom にてレポートを提出すること ・適宜、グループワークにて学生が調べて発表する課題も取り入れて行う				
学習評価(EV)	・レポート(前期-後期講義の合計 15 回): 点数割合: 30 点(全体の 10%) ・前期期末試験: 点数割合: 90 点(4つの試験合算で全体の 90%)(※テスト方式詳細は事前に掲示) ・後期期末試験: 点数割合: 90 点 ・上肢実技試験: 点数割合: 45 点 ・下肢実技試験: 点数割合: 45 点				
単位認定の方法 及び基準	・通年科目のため、本教科では 180 点以上(300 満点中)を合格とする。 修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2(実習においては5分の4)に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	運動療法のための機能解剖学的触診技術動画プラス 上肢、下肢/体幹 (メジカルビュー社) (後半のコマより触診の授業へ移行、使用時には事前に通知する)				
参考書	配布資料(教科書で分かりづらい部分はセッションごとに配布)				

令和7年度 授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校

理学療法学科

科 目 名	神経内科学・脳外科学			授業区分	講義
学年・時期	2 年 前・後期	単位	2 単位	回数・時間数	30 回 （ 60 時間）
担当教員 mail	千葉 恵美子 e-chiba@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内 容	理学療法士(国保藤沢町民病院(国保藤沢病院)、 老健ふじさわ、訪問看護ステーション)	
一般目標(GIO)	・リハビリテーションの対象となる神経疾患についての理解を深め、基本的な治療法について理解する				
行動目標(SBOs)	・脳血管障害をはじめとした脳の損傷の状態を理解し、説明することができる。 ・様々な症状や徴候を示す機能的背景を理解し、臨床推論過程に応用できる。				
授業概要	1～2:脳・神経系の基礎的知識の復習 3～5:脳血管疾患について 6:脳腫瘍 7:認知症 8～10:頭部外傷 11～12:パーキンソン病およびパーキンソン症候群 13～16:変性疾患(脊髄小脳変性症、多系統萎縮症、ハンチントン病、筋萎縮性側索硬化症) 17～18:脱髄疾患(多発性硬化症)、末梢神経疾患(ギランバレー症候群)、筋疾患(皮膚筋炎・多発性筋炎、重症筋無力症) 19:末梢神経疾患 20:筋疾患 21:神経感染症 22:代謝・中毒性疾患 23～28:演習 29～30:まとめ				
学習方略(LS)	授業は講義、プリント、ディスカッションにて実施する。 学生が調べて発表する課題も含まれる。				
学習評価(EV)	レポート課題及び定期テストにて総合的に評価する予定				
単位認定の方法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が60点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2(実習においては5分の4)に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	著:今井富裕「はじめての講義 リハビリテーションのための神経内科の学び方」南江堂 総編集:石川 朗 責任編集:木村雅彦「15 レクチャーシリーズ 第2版神経障害理学療法学Ⅰ・Ⅱ」 中山書店 病気が見える⑦改訂2版 脳・神経				
参考書	適宜紹介				

令和7年度 授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校

理学療法学科

科 目 名	精神医学			授業区分	講義
学年・時期	1年 後期	単位	1 単位	回数・時間数	15 回 （ 30 時間）
担当教員 mail	小原 拓也 t-obara@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内 容	理学療法士（介護老人保健施設シルバーヘルスー関）	
一般目標(GIO)	・精神医学の特色を身体医学との比較で学ぶ				
行動目標(SBOs)	・精神疾患の病態、症状、治療法を理解する。 ・臨床で必要とされる精神医学の知識を身につけ病気と障害を持ちながらの生活を支える技術を学ぶ。 ・患者、障害者の心に共感し、健康な心の部分を捉える能力を養う。				
授業概要	1 精神医学総論 2 精神医学総論 3 精神医学総論 4 統合失調症 5 抑うつ障害群、双極性障害および関連障害群 6 抑うつ障害群、双極性障害および関連障害群 7 認知症 8 依存症 9 てんかん 10神経症性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害 11摂食障害 12パーソナリティ障害 13発達障害 14精神科の治療 15国家試験問題				
学習方略(LS)	講義は下記の教科書を用いながら実施。				
学習評価(EV)	筆記試験、授業態度で総合的に判断。				
単位認定の方法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が60点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2(実習においては5分の4)に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	・改訂第2版 専門医がやさしく語るはじめての精神医学 中山書店				
参考書	配布資料				

令和7年度 授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校

理学療法学科

科 目 名	運動学			授業区分	講義(実技含み)
学年・時期	1 年 前後期	単位	3 単位	回数・時間数	45 回 (90 時間)
担当教員 mail	三谷 典生 n-mitani@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内 容	理学療法士(衣笠病院、一関病院)	
一般目標(GIO)	解剖学や生理学の知識をもとに人間の運動とはどのようなメカニズムによって行われているかについて理解する。				
行動目標(SBOs)	・身体各所の機能と照らし合わせて運動の役割や機序を説明できる。 ・基本的な運動から逸脱した状態がどのようなものかを考察することができる。 ・運動学的視点を身に付け、運動の観察から、起こっている現象の抽出ができるようになる。				
授業概要	1 運動学と理学療法 2 体位の分類、面と軸、骨・関節運動学 3 生体力学、歩行速度、歩行率 4 支持基底面、重心、重心線 5 ランドマーク、関節の分類 6 可動関節の構造、筋の構造と機能、筋の役割 7 各関節の運動方向 8 各関節の運動方向(演習) 9 運動継続による効果、運動時の呼吸の変化 10 トレーニングの種類、運動時のエネルギー産生 11 咀嚼・嚥下運動 12 咀嚼・嚥下運動の障害と評価 13 頭頸部の運動 14 頭頸部の運動障害と評価 15 胸腰椎・椎体周囲の運動				
学習方略(LS)	・教科書のスライドプロジェクションとテキスト、プリントより実施 ・次回授業分を事前学習すること ・各講義終了後は学習の振り返りとして classroom にてレポートを提出すること				
学習評価(EV)	・レポート(前期-後期講義の合計 15 回): 点数割合: 30 点(全体の 10%) ・小テスト(全3回): 点数割合: 30 点(全体の 10%) ・前期期末試験: 点数割合: 80 点(3つの試験合算で全体の 80%) ・中間期末試験: 点数割合: 80 点 ・後期期末試験: 点数割合: 80 点				
単位認定の方法 及び基準	・通年科目のため、本教科では 180 点以上(300 満点中)を合格とする。 修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2(実習においては5分の4)に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	運動学テキスト 南江堂				
参考書	筋骨格系のキネシオロジー 医歯薬出版 配布資料(教科書で分かりづらい部分はセッションごとに配布)				

令和7年度 授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校

理学療法学科

科 目 名	運動学			授業区分	講義(実技含み)
学年・時期	1 年 前後期	単位	3 単位	回数・時間数	45 回 (90 時間)
担当教員 mail	三谷 典生 n-mitani@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内 容	理学療法士(衣笠病院、一関病院)	
一般目標(GIO)	解剖学や生理学の知識をもとに人間の運動とはどのようなメカニズムによって行われているかについて理解する。				
行動目標(SBOs)	・身体各所の機能と照らし合わせて運動の役割や機序を説明できる。 ・基本的な運動から逸脱した状態がどのようなものかを考察することができる。 ・運動学的視点を身に付け、運動の観察から、起こっている現象の抽出ができるようになる。				
授業概要	16 胸腰椎・椎体周囲の運動障害と評価(演習) ※前期期末試験範囲 17 前半履修範囲の振り返り 18 前半履修範囲の振り返り 19 胸郭と呼吸運動 20 胸郭と呼吸運動障害と評価 21 肩複合体の運動 22 肩複合体の運動障害と評価(演習) 23 肘・前腕の運動 24 肘・前腕の運動障害と評価(演習) 25 手部の運動/運動障害と評価(演習) 26 上肢に対する収縮様式ごとのエクササイズ 27 骨盤・股関節の運動 28 骨盤・股関節の運動障害と評価(演習) 29 膝関節の運動 30 膝関節の運動障害と評価(演習) ※中間期末試験範囲				
学習方略(LS)	・教科書のスライドプロジェクションとテキスト、プリントより実施 ・次回授業分を事前学習すること ・各講義終了後は学習の振り返りとして classroom にてレポートを提出すること				
学習評価(EV)	・レポート(前期-後期講義の合計 15 回): 点数割合: 30 点(全体の 10%) ・小テスト(全3回): 点数割合: 30 点(全体の 10%) ・前期期末試験: 点数割合: 80 点(3つの試験合算で全体の 80%) ・中間期末試験: 点数割合: 80 点 ・後期期末試験: 点数割合: 80 点				
単位認定の方法 及び基準	・通年科目のため、本教科では 180 点以上(300 満点中)を合格とする。 修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2(実習においては5分の4)に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	運動学テキスト 南江堂				
参考書	筋骨格系のキネシオロジー 医歯薬出版 配布資料(教科書で分かりづらい部分はセッションごとに配布)				

令和7年度 授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校

理学療法学科

科 目 名	運動学			授業区分	講義(実技含み)
学年・時期	1 年 前後期	単位	3 単位	回数・時間数	45 回 (90 時間)
担当教員 mail	三谷 典生 n-mitani@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内 容	理学療法士(衣笠病院、一関病院)	
一般目標(GIO)	解剖学や生理学の知識をもとに人間の運動とはどのようなメカニズムによって行われているかについて理解する。				
行動目標(SBOs)	・身体各所の機能と照らし合わせて運動の役割や機序を説明できる。 ・基本的な運動から逸脱した状態がどのようなものかを考察することができる。 ・運動学的視点を身に付け、運動の観察から、起こっている現象の抽出ができるようになる。				
授業概要	31 下腿・足関節の運動 32 足部の運動の・足根骨の配列確認(演習) 33 足部の運動学、主動作筋の確認 34 足部の運動障害と評価(演習) 35 神経ダイナミクス(演習) 36 中間試験の振返り 37 感覚と運動 38 運動発達と姿勢反射 39 姿勢制御機構と異常 40 基本動作分析(概要を中心) 41 基本動作分析(起立着座) 42 基本動作分析(寝返り～起き上がり) 43 基本動作分析(歩行) 44 身体運動の分析法 45 体力良好と運動負荷				
学習方略(LS)	・教科書のスライドプロジェクションとテキスト、プリントより実施 ・次回授業分を事前学習すること ・各講義終了後は学習の振返りとして classroom にてレポートを提出すること				
学習評価(EV)	・レポート(前期-後期講義の合計 15 回): 点数割合: 30 点(全体の 10%) ・小テスト(全3回): 点数割合: 30 点(全体の 10%) ・前期期末試験: 点数割合: 80 点(3つの試験合算で全体の 80%) ・中間期末試験: 点数割合: 80 点 ・後期期末試験: 点数割合: 80 点				
単位認定の方法 及び基準	・通年科目のため、本教科では 180 点以上(300 満点中)を合格とする。 修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2(実習においては5分の4)に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	運動学テキスト 南江堂				
参考書	筋骨格系のキネシオロジー 医歯薬出版 配布資料(教科書で分かりづらい部分はセッションごとに配布)				

令和7年度 授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校

理学療法学科

科 目 名	小児科学			授業区分	講義
学年・時期	2 年 後期	単位	1 単位	回数・時間数	15 回 （ 30 時間）
担当教員 mail	松村 一 h-matamura@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内 容	理学療法士（東八幡平病院、福島整肢療養園、リハビリライフ）	
一般目標(GIO)	1 年次後期に学習した人間発達学を基礎に発達過程で生じる中枢神経障害や骨関節障害、遺伝疾患、精神障害等の病気について学習する 患者様の病態に対応できる理学療法評価ができる				
行動目標(SBOs)	①理学療法評価学と各疾患の症状を結び付けながら、患者像を把握できる②模擬患者様に対して適切な時間内で各検査測定を実施できる ②理学療法士が臨床場面で遭遇する代表的な疾患の原因と病態、臨床像について説明できる				
授業概要	1、低出生体重児・ハイリスク児 2 脳性麻痺の原因と病態、合併症① 3、脳性麻痺の原因と病態、合併症② 4、二分脊椎の原因と病態、合併症 5、ダウン症候群の原因と病態、合併症 6、子供の代表的な遺伝性疾患：遺伝形式と臨床像 7、大腿骨頭すべり症、ペルテス病の原因と臨床像 8、代表的な骨端症：部位と好発年齢 9、先天性股関節脱臼と股関節障害に関する臼蓋角と CE 角、sharp 角 10、小児で多い骨折と特発性側彎症 11、自閉症スペクトラム障害、広汎性発達障害 12、血友病 13、先天性奇形を生じる疾患 14、精神遅滞(知的障害)を生じる疾患 15、自己免疫疾患と代謝異常				
学習方略(LS)	内科学や整形外科学の知識を共有しながら学習すること。				
学習評価(EV)	筆記試験で総評する。				
単位認定の方法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2(実習においては5分の4)に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	標準理学療法学・作業療法「内科学」第3版、「老年学」第3版 標準理学療法学・作業療法「整形外科学」第4版				
参考書	配布資料				

令和7年度 授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校

理学療法学科

科 目 名	栄 養 学			授業区分	講 義
学年・時期	1 年 後 期	単 位	1 単 位	回数・時間数	15 回 （ 30 時間）
担当教員 mail	横山 恵		実務経験 の 内 容	管理栄養士	
一般目標(GIO)	近年リハビリ対象者(高齢者)に低栄養やサルコペニアが増加している。栄養状態を良好に保ち、適切な栄養管理下での積極的なリハビリは、筋力アップにつながり、さらなる ADL の改善につながものである。また口腔機能の維持・向上に関心を持ち、栄養状態が及ぼすリハビリの効果を理解することを目的とする。				
行動目標(SBOs)	1.栄養素について理解する 2.栄養素の消化・吸収・代謝について理解する 3.エネルギーの代謝・エネルギーの消費について理解する 4.チーム医療の仕組み、栄養ケアマネジメントについて理解する 5.臨床栄養・病態別栄養管理について理解する 6.リハビリテーション栄養の全体について理解する				
授業概要	①人間栄養学 ②栄養素の種類とはたらき ③食物の消化と、栄養素の吸収・代謝について ④エネルギー代謝 ⑤食事と食品 ⑥栄養ケアマネジメント ⑦栄養状態の評価と判定 ⑧ライフステージにおける栄養管理 ⑨臨床の場における病態栄養 ⑩リハビリテーション栄養の必要性和実際について ⑪口腔機能と栄養の関わり ⑫心身内科学と栄養の関わり ⑬慢性疾患患者に対する低栄養対策 ⑭在宅支援における栄養の役割 ⑮実症例をもとにした、栄養アセスメントと栄養ケアプランの作成 ⑯国家試験の傾向と対策				
学習方略(LS)	教科書を中心に授業する。実際の臨床の現場で行われている内容を適宜取り入れる				
学習評価(EV)	定期テストにて総合的に評価する予定				
単位認定の方法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2(実習においては5分の4)に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	2021 年版「系統看護学講座」 専門基礎分野 人体の構造と機能[3] 栄養学 (医学書院)				
参考書	その他、厚生労働省資料やプリント等				

令和7年度 授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校

理学療法学科

科 目 名	リハビリテーション概論(理学療法概論)			授業区分	講義(実技含み)
学年・時期	1年 前・後期	単位	3 単位	回数・時間数	45 回 (90 時間)
担当教員 mail	小原 拓也 t-obara@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内 容	理学療法士(介護老人保健施設シルバーヘルスー 関)	
一般目標(GIO)	リハビリテーションの概念を理解し、それに伴う理学療法の役割について広く学ぶ。				
行動目標(SBOs)	・理学療法の概略および理学療法士の現状について理解する。 ・実際の場面を想定したものを通して理解を深めていく。				
授業概要	1 理学療法の概念と歴史 2 理学療法士の法律 3 理学療法士の関連法規 4 理学療法の意義と役割 5 理学療法の対象 6 理学療法の方法 7 理学療法士の組織 8 理学療法士教育 9 医療、保健分野の理学療法 10 地域リハビリテーションと理学療法 11 医療事故とリスクマネジメント 12 個人情報の管理と対象者の権利 13 理学療法士を目指す学生に求められるもの 14 臨床教育の実践 15 理学療法士と研究				
学習方略(LS)	講義、グループワーク、発表				
学習評価(EV)	授業態度、筆記試験、発表と総合的に判断する。				
単位認定の方法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が60点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2(実習においては5分の4)に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	理学療法学概論 第4版 神陵文庫				
参考書	配布資料				

令和7年度 授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校

理学療法学科

科 目 名	社会福祉学			授業区分	講義(演習含み)
学年・時期	1 年 後期	単位	1 単位	回数・時間数	15 回 (30 時間)
担当教員 mail	佐々木千枝 goodjobousyuu777@gmail.com		実務経験 の 内 容	・社会福祉士(スクールソーシャルワーカー) ・自閉症スペクトラム支援士(ADVANCED) ・障害者支援施設勤務(16 年)	
一般目標(GIO)	社会背景の移り変わりに対してどのように社会福祉制度が変化してきているのかを理解し、対人援助する際の視点を持てる				
行動目標(SBOs)	1. 社会福祉とは何かを理解する。 2. 日本における社会福祉制度について理解する。 3. 介護保険制度について理解する。 4. 地域福祉について理解する。 5. 医療福祉・精神保健福祉について理解する。 6. 社会福祉施設の役割について理解する。				
授業概要	1. 社会福祉とは 2. 日本の社会福祉の歴史 3. 社会保障制度と社会福祉を展開する組織 4. 子ども福祉について 5. 障害者福祉について 6. 高齢者福祉について 7. 介護保険制度と専門職の役割 8. 低所得者福祉について 9. 地域福祉とその推進方法 10. 医療福祉について 11. 精神保健福祉について 12. 社会福祉施設の役割 13. 社会福祉を担う人々 14. 相談援助の目的と方法 15. 社会福祉を巡る課題とコメディカルに期待される役割				
学習方略(LS)	・教科書を中心に、講義、VTR 視聴、演習、グループワーク等を通じて学習する。 ・さまざまな生活の困りごとに直面している人について「社会福祉の視点」から理解できるような教材や学習内容を教員が用意し、学生とのやり取りを通して学びを深めていく。				
学習評価(EV)	・授業毎に記入するレスポンスシート、授業への姿勢、試験、レポート課題等から総合的に評価する。				
単位認定の方法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2(実習においては5分の4)に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	コメディカルのための社会福祉概論 第 4 版 講談社				
参考書	その他、厚生労働省資料やプリント等				

令和7年度 授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校

理学療法学科

科 目 名	基礎理学療法総論			授業区分	講義(実技含み)
学年・時期	1 年 前期	単位	1 単位	回数・時間数	15 回 (30 時間)
担当教員 mail	小原 拓也 t-obara@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内 容	理学療法士(介護老人保健施設シルバーヘルスー 関)	
一般目標(GIO)	運動療法を実施できる基礎として、対象者の評価に基づいた姿勢変換や移乗・移動動作の習得する。				
行動目標(SBOs)	①ボディメカニズムを理解できる ②①を理解した上で対象者に対して適切な介助や誘導を行うことができる				
授業概要	1 移動介助の基礎知識と注意点 2 安全な介助 障害別介助の特徴と留意点 3 杖の合わせ方 歩行 4 階段昇降 5 車椅子の閉じ方と開き方、車椅子自走 6 臥位 7 ベッド上臥位での移動 8 寝返り 9 起き上がり 10 座位 11 座位での移動、座位からの立ち上がり 12 立位保持 13 移乗 14 移乗(トイレ、浴室) 15 車椅子介助(段差昇降、屋外)				
学習方略(LS)	実技を通じ介助方法や理論を学ぶ 一部講義を含む				
学習評価(EV)	授業態度、実技試験、筆記試験により総合的に評価する。				
単位認定の方法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2(実習においては5分の4)に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	新イラストによる安全な動作介助の手引き 第3版 医歯薬出版				
参考書	配布資料				

令和7年度 授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校

理学療法学科

科 目 名	理学療法研究法 I			授業区分	講義(演習含み)
学年・時期	2 年 前期	単位	1 単位	回数・時間数	15 回 (30 時間)
担当教員 mail	工藤 英司 e-kudo@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内 容	理学療法士(南昌病院、函館新都市病院、角田病院、介護老人保健施設サンライフえさし)	
一般目標(GIO)	理学療法における研究の意義を理解し、これまでの学習で抱いた疑問や気付いた矛盾を明らかにするための、思考過程と問題解決能力を習得する。また、研究計画を立案し、研究の流れや手順に沿って実施、発表できる。				
行動目標(SBOs)	1.研究の意義が説明できる 2.研究過程を説明できる 3.データの解析ができる 4.研究発表ができる				
授業概要	1. 概論 (研究の面白さ、楽しみ、何のために研究をするのか) 2. 研究を始める前に(研究テーマの選び方、研究の仮設立案) 3. 統計学の基本1 4. 統計学の基本2 5. 記述統計学 6. 統計学の確率の考え方 7. 推測統計学の考え方 8. 自主研究1 9. 自主研究2 10. 自主研究3 11. 自主研究4 12. 自主研究5 13. 自主研究6 14. 発表 15. 発表、まとめ				
学習方略(LS)	授業は講義、ディスカッションにて実施する。学生が研究して発表する課題も含まれる。テスト後、復習講義を実施する。				
学習評価(EV)	研究課題および取組態度、発表により総合的に評価する。				
単位認定の方法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が60点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2(実習においては5分の4)に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	リハビリテーション統計学 中山書店				
参考書	理学療法研究法 医歯薬出版株式会社				

令和7年度 授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校

理学療法学科

科 目 名	理学療法研究法Ⅱ			授業区分	講義(演習含み)	
学年・時期	2 年	後期	単位	1 単位	回数・時間数	15 回 (30 時間)
担当教員 mail	工藤 英司 e-kudo@imwc-ichinoseki.ac.jp			実務経験 の 内 容	理学療法士(南昌病院、函館新都市病院、角田病院、介護老人保健施設サンライフえさし)	
一般目標(GIO)	理学療法における研究の意義を理解し、これまでの学習で抱いた疑問や気付いた矛盾を明らかにするための、思考過程と問題解決能力を習得する。また、研究計画を立案し、研究の流れや手順に沿って実施、発表できる。					
行動目標(SBOs)	1.理学療法研究の意義が説明できる 2.理学療法研究過程を説明できる 3.理学療法データの解析ができる 4.理学療法研究の発表ができる					
授業概要	1. オリエンテーション 2. 理学療法研究について① 3. 理学療法研究について② 4. 理学療法学会誌等の紹介① 5. 理学療法学会誌等の紹介② 6. 理学療法学会誌等の自己検索① 7. 理学療法学会誌等の自己検索② 8. 自己研究の作成① 9. 自己研究の作成② 10. 自己研究の作成③ 11. 自己研究の作成④ 12. 自己研究の作成⑤ 13. 研究発表用のパワーポイント貼り付け 14. 研究発表 15. 研究発表、まとめ					
学習方略(LS)	授業は講義、ディスカッションにて実施する。学生が調べて発表する課題も含まれる。 テスト後、復習講義を実施する。					
学習評価(EV)	レポートおよび取組態度、発表により総合的に評価する。					
単位認定の方法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が60点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2(実習においては5分の4)に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。					
教科書	リハビリテーション統計学 中山書店					
参考書	理学療法研究法 医歯薬出版株式会社 資料提供					

令和7年度 授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校

理学療法学科

科 目 名	卒業研究			授業区分	講義(演習含み)
学年・時期	3 年 前・後期	単位	3 単位	回数・時間数	45 回 (90 時間)
担当教員 mail	千葉 恵美子 e-chiba@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内 容	理学療法士(国保藤沢町民病院(国保藤沢病院)、 老健ふじさわ、訪問看護ステーション)	
一般目標(GIO)	・理学療法士に必要な知識・技術を整理し、理解を深める。				
行動目標(SBOs)	・国家試験受験に向けて、出題傾向をとらえ学習計画を立て、実行できる。				
授業概要	1- 2: 国家試験の出題傾向の把握と1年間の学習計画作成 3-12: 理学療法に関する手技演習 13-22: 基礎医学、臨床医学についての復習・まとめ 23-32: 理学療法専門分野の知識・技術の復習とまとめ 33-45: 個々の課題分析と課題演習				
学習方略(LS)	授業は講義、プリント、ディスカッションにて実施する。 学生が調べて発表する課題も含まれる。 テスト後、復習を実施する。				
学習評価(EV)	提出物および取組態度 80%、筆記試験80%により総合的に評価する。				
単位認定の方法 及び基準	5回の修了試験(卒業試験)を行い、5回のうち1回でも試験結果が280点中6割(168点)未満の者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	特になし				
参考書	国家試験および模擬試験問題等				

令和7年度 授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校

理学療法学科

科 目 名	理学療法業務運営管理			授業区分	講義(演習含み)
学年・時期	2 年 前・後期	単位	2 単位	回数・時間数	30 回 (60 時間)
担当教員 mail	工藤 英司 e-kudo@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内 容	理学療法士(南昌病院、函館新都市病院、角田病院、介護老人保健施設サンライフえさし)	
一般目標(GIO)	リハビリテーションおよび理学療法の概要を理解しながら、リハビリテーションチームの一員としての理学療法士としての役割と業務内を説明できる				
行動目標(SBOs)	①下記 1～6 について説明できる				
授業概要	1: 社会保障制度 2: 職業倫理 3: 業務管理 4: 多職種連携と地域連携 5: 医療の質とリスクマネジメント 6: 養成教育と卒後教育				
学習方略(LS)	授業は講義、演習を用いて実施する。				
学習評価(EV)	ペーパー試験、提出物、取り組み態度により総合的に評価する。				
単位認定の方法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2(実習においては5分の4)に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	リハビリテーション管理学 医学書院				
参考書	適宜資料提供				

令和7年度 授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校

理学療法学科

科 目 名	理学療法評価法 I			授業区分	講義(演習含み)
学年・時期	1 年 前・後期	単位	2 単位	回数・時間数	30 回 (60 時間)
担当教員 mail	千葉 恵美子 e-chiba@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内 容	理学療法士(国保藤沢町民病院(国保藤沢病院)、 老健ふじさわ、訪問看護ステーション)	
一般目標(GIO)	理学療法の意義を理解し、個々の評価方法、判断をし患者の全体像を把握できる				
行動目標(SBOs)	・理学療法評価の意義を理解する。 ・理学療法評価の手技・判断が理解する。				
授業概要	・理学療法評価の意義 ・一般的評価事項 ・バイタルサイン ・形態測定 ・痛みの評価 ・感覚検査 ・整形外科疾患試験 ・高次脳機能検査 ・片麻痺機能検査 ・脳機能検査 ・統合と解釈				
学習方略(LS)	教科書および実技での学習				
学習評価(EV)	定期テストおよび実技テストにて総合的に評価する予定				
単位認定の方法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2(実習においては5分の4)に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	編著:望月久「最新 理学療法学講座 理学療法評価学」医歯薬出版株式会社				
参考書	標準理学療法学 専門分野 理学療法評価学 第4版 他				

令和7年度 授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校

理学療法学科

科 目 名	理学療法評価法Ⅱ			授業区分	講義(演習含み)
学年・時期	2 年 前・後期	単位	2 単位	回数・時間数	30 回 (60 時間)
担当教員 mail	千葉 恵美子 e-chiba@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内 容	理学療法士(国保藤沢町民病院(国保藤沢病院)、 老健ふじさわ、訪問看護ステーション)	
一般目標(GIO)	疾患特性から種々の評価選定、実施し、その結果がADSLにどのような影響を与えているか統合することにより、予後予測を含めて包括的に捉える。				
行動目標(SBOs)	1:個々の疾患の概略を理解し、説明できる。 2:個々の疾患、障害に応じた評価項目の意義を理解し、説明できる。 3:評価結果のとらえ方を説明でき、その結果を解釈できる。				
授業概要	1-2:理学療法Ⅰの復習 3-6:脳卒中の理学療法評価について 7-14:運動器疾患に対する評価について 15-18:神経疾患に対する評価について 19-20:スポーツ外傷・障害に対する評価について 21-24:高齢者の体力、廃用症候群に対する評価 25-30:模擬患者での評価演習・まとめ				
学習方略(LS)	教科書および実技での学習				
学習評価(EV)	定期テストおよび実技テストにて総合的に判断				
単位認定の方法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が60点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2(実習においては5分の4)に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	編著:望月久「最新 理学療法学講座 理学療法評価学」医歯薬出版株式会社 編著:畠 昌史 他「PT 臨床評価ガイド」医学書院				
参考書	国家試験問題集等				

令和7年度 授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校

理学療法学科

科 目 名	理学療法評価法Ⅲ			授業区分	講義(演習含み)
学年・時期	3 年 後期	単位	1 単位	回数・時間数	15 回 (30 時間)
担当教員 mail	千葉 恵美子 e-chiba@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内 容	理学療法士(国保藤沢町民病院(国保藤沢病院)、 老健ふじさわ、訪問看護ステーション)	
一般目標(GIO)	臨床場面を想定し、疾患特性を踏まえ PDCA サイクルに基づき評価し統合解釈ができる。				
行動目標(SBOs)	疾患特性に応じた、理学療法評価を展開できるよう、今までの知識・技術を整理しながら実施できる。 実際の症例に対し、効果的なプランニングを図る事ができるようになる。				
授業概要	模擬症例情報より評価立案・実施、治療立案・実施を行い臨床実習における臨床推論の学習をグループで行う。				
学習方略(LS)	講義、実技を含む				
学習評価(EV)	実技試験(OSCE)にて総合的に判断する。				
単位認定の方法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2(実習においては5分の4)に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	所持している教科書等				
参考書	適宜紹介				

令和7年度 授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校

理学療法学科

科 目 名	臨床運動学			授業区分	講義(実技含み)
学年・時期	2 年 後期	単位	1 単位	回数・時間数	15 回 (30 時間)
担当教員 mail	三谷 典生 n-mitani@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内 容	理学療法士(衣笠病院、一関病院)	
一般目標(GIO)	・臨床での基本的な動作分析を理解する ・動作遂行能力の診断、動作異常要素の原因追究を行う				
行動目標(SBOs)	・力学的動作が説明できる ・動作分析の思考過程を明らかにし、事例を通して動作分析を理解する ・代表的な疾患を通して動作の特徴を理解する				
授業概要	1 臨床における動作分析 2 動作障害に関与する機能障害 3 姿勢制御のバイオメカニクス 4 寝返り動作の分析 5 — 概要、動作を可能にするメカニズム、目視による動作分析、動作のメカニズムの評価 6 起き上がり動作の分析 7 — 概要、動作を可能にするメカニズム、目視による動作分析、動作のメカニズムの評価 8 起立・着座動作の分析 9 — 概要、動作を可能にするメカニズム、目視による動作分析、動作のメカニズムの評価 10 歩行の分析 11 — 概要、動作を可能にするメカニズム、目視による動作分析、動作のメカニズムの評価 12 — 動作のメカニズムを阻害する原因を推論するための評価、歩行周期ごとの理解 13 疾患や年齢ごとの歩行動作の特徴と分析 14 — 脳血管障害片麻痺、中枢神経障害 15 — 下肢荷重関節の障害、高齢者の特徴				
学習方略(LS)	・テキストベースで用語の理解を図り、動き中で生じる場面との整合性を図る。 ・症例動画等を通し、実際の動作よりメカニズムの解析や特徴を捉え文章を図る。 ・ハンドリング、各自で実演を通し身体活動を通して動作の成立要件を学ぶ。 ・事前に教科書の該当部分を予習するとともに、事後学習に取り組むこと。				
学習評価(EV)	・実技試験: 点数割合: 15 点(計3回) ・レポート: 点数割合: 10 点(計5回) ・小テスト: 点数割合: 10 点(計2回) ・期末試験: 点数割合: 65 点				
単位認定の方法 及び基準	・上記点数配分にて、本教科では 60 点以上(100 満点中)を合格とする。 修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2(実習においては5分の4)に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	動作分析 臨床活用講座 バイオメカニズムに基づく臨床推論の実践 メジカルビュー				
参考書	配布資料(教科書補填部分の資料配布)				

令和7年度 授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校

理学療法学科

科 目 名	日常生活技術論			授業区分	講義(演習含み)
学年・時期	2 年 前期	単位	1 単位	回数・時間数	15 回 (30 時間)
担当教員 mail	小原 拓也 t-obara@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内 容	理学療法士(介護老人保健施設シルバーヘルスー 関)	
一般目標(GIO)	理学療法の中で障害と ADL の関連性を正しくとらえることは、個々のライフスタイルに合わせたアプ ローチをするうえで重要である。ADL の概要及びその範囲、ADL 評価、ADL 支援機器、疾患特性に応じ た ADL の指導方法等を学習する。				
行動目標(SBOs)	1:ADL の概要について理解し、説明できる。 2:ICIDH・ICF と ADL との関連について理解する。 3:ADL と QOL の関係を理解する。 4:ADL に必要な運動学の視点を理解し、介助方法について運動学的説明ができる。 5:主な ADL 評価を説明できる。 6:ADL を支援する機器の役割を理解できる。 7:代表的な理学療法対象疾患の特性を理解し指導方法を説明できる。 8:在宅生活復帰に必要な退院・退所前の評価の要点と ADL 指導内容およびその際の留意事項につ いて説明できる。				
授業概要	1 日常生活活動の概念 2 日常生活活動の評価 3 日常生活活動の評価 4 基本動作とセルフケア 5 基本動作とセルフケア 6 移乗動作 7 移動動作 8 歩行補助具 9 車椅子 10 日常生活用具・自助具 11 片麻痺の ADL 12 脊髄損傷、脊椎・脊髄疾患の ADL 13 関節リウマチの ADL 変形性関節症の ADL 14 神経筋疾患の ADL 15 高次脳機能障害・認知症の ADL				
学習方略(LS)	教科書および実技での学習				
学習評価(EV)	小テスト、期末試験、授業態度、課題にて総合的に評価する。				
単位認定の方法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教 員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業 時間数の3分の2(実習においては5分の4)に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、 「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	Cross Link 理学療法学テキスト 日常生活活動学 メジカルビュー社				
参考書	配布資料				

令和7年度 授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校

理学療法学科

科 目 名	理学療演習 I A			授業区分	講義(演習含み)
学年・時期	1年 後期	単位	1 単位	回数・時間数	15 回 (30 時間)
担当教員 mail	千葉 恵美子 e-chiba@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内 容	理学療法士(国保藤沢町民病院(国保藤沢病院)、 老健ふじさわ、訪問看護ステーション)	
一般目標(GIO)	関節構造を理解した上で、関節可動域測定の意義や方法、結果の解釈することができる				
行動目標(SBOs)	・関節可動域測定において基本軸・移動軸を理解し確実にテストすることが出来る				
授業概要	1.関節可動域測定① 下肢 2.関節可動域測定② 下肢 3.関節可動域測定③ 下肢 4.関節可動域測定④ 下肢 5.関節可動域測定⑤ 下肢 6.関節可動域測定① 肩甲帯・上肢 7.関節可動域測定② 肩甲帯・上肢 8.関節可動域測定③ 肩甲帯・上肢 9.関節可動域測定④ 頸部・体幹 10.関節可動域測定⑤ 頸部・体幹 11.関節可動域測定⑥ 頸部・体幹 12.関節可動域測定⑦ 手 13～15:全ての部位の振り返り				
学習方略(LS)	授業は講義、実技を用いて実施する。				
学習評価(EV)	筆記試験および実技試験により総合的に評価する。				
単位認定の方法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が60点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2(実習においては5分の4)に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	編著:望月久「最新 理学療法学講座 理学療法評価学」医歯薬出版株式会社				
参考書	PT・OTのための臨床技能とOSCE 金原出版株式会社				

令和7年度 授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校

理学療法学科

科 目 名	理学療法演習 I B			授業区分	講義(演習含み)
学年・時期	1年 後期	単位	1 単位	回数・時間数	15 回 (30 時間)
担当教員 mail	千葉 恵美子 e-chiba@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内 容	理学療法士(国保藤沢町民病院(国保藤沢病院)、 老健ふじさわ、訪問看護ステーション)	
一般目標(GIO)	筋に関する知識を理解した上で、各部位の徒手筋力検査が正しく測定でき、検査結果を判定することができる。				
行動目標(SBOs)	・徒手筋力検査において段階基準を理解し確実にテストすることが出来る				
授業概要	1.徒手筋力検査法 下肢 講義① 2.徒手筋力検査法 下肢 実技① 3.徒手筋力検査法 下肢 講義② 4.徒手筋力検査法 下肢 実技② 5.徒手筋力検査法 下肢 講義③ 6.徒手筋力検査法 下肢 実技③ 7.徒手筋力検査法 下肢 講義④ 8.徒手筋力検査法 下肢 実技④ 9.徒手筋力検査法 下肢 講義⑤ 10.徒手筋力検査法 下肢 実技⑤ 11.徒手筋力検査法 頸部・体幹 講義 12.徒手筋力検査法 頸部・体幹 実技 13.徒手筋力検査法 上肢① 講義 14.徒手筋力検査法 上肢① 実技 15.徒手筋力検査法 上肢② 講義 16.徒手筋力検査法 上肢② 実技 17.徒手筋力検査法 上肢③ 講義 18.徒手筋力検査法 上肢③ 実技				
学習方略(LS)	授業は講義、実技を用いて実施する。				
学習評価(EV)	筆記試験および実技試験により総合的に評価する。				
単位認定の方法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が60点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2(実習においては5分の4)に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	最新理学療法学講座 理学療法評価学 新・徒手筋力検査法 第10版				
参考書	PT・OTのための臨床技能とOSCE 金原出版株式会社				

令和7年度 授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校

理学療法学科

科 目 名	理学療法演習ⅡA			授業区分	講義(演習含み)
学年・時期	2 年 前期	単位	1 単位	回数・時間数	15 回 (30 時間)
担当教員 mail	三谷 典生 n-mitani@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内 容	理学療法士(衣笠病院、一関病院)	
一般目標(GIO)	患者との対話、評価、治療の実施など、実際の臨床場面で必要な技術を身に付ける				
行動目標(SBOs)	・理学療法士として必要な技術や判断力を実践的に評価することで、能力を向上させる ・患者とのやり取りや評価を通じて、患者中心のケアを適切に実践する力を養う ・症例に応じた適切な治療法や評価を行い、安全で効果的な医療を提供できる能力を身に付ける				
授業概要	1 OSCE の概要 2 OSCE の概要 3 コミュニケーション技法 4 療法士面接 5 療法士面接 6 基本動作介助 7 移乗・車椅子駆動介助 8 脈拍と血圧の測定 9 補助具関連の装着 10 補助具関連の装着 11 関節可動域測定 12 関節可動域測定 13 筋力評価 14 筋力評価 15 履修範囲の振り返り				
学習方略(LS)	・各セクションの初めに講義形式にて、取組みの方法と要点を説明(資料にて事前学習) ・テーマごとの手順に沿って、対象者(学生間)で実践方式でのプラクティスを行う ・テーマごとの要素に沿った検査・評価法単体での練習も求める(事後学習) ・普遍的な対象者を想定した練習から、疾患を想定した実践課程へと移行していく				
学習評価(EV)	・各項目ごとに分かれたステーションを5ブース設置(項目ごとの満点は異なる)(予定) ・課題提示された内容を OSCE 形式にて実施(1ブース辺り 20%換算の配点率)				
単位認定の方法 及び基準	・各項目の合計点の到達点数割合が 60%を合格とする。 修了試験結果が 60%未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2(実習においては5分の4)に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	PT・OT のための臨床技能と OSCE コミュニケーションと介助・検査測定編 金原出版株式会社				
参考書	別途 配布資料、各評価項目が記載されている科目教科書				

令和7年度 授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校

理学療法学科

科 目 名	理学療法演習ⅡB			授業区分	講義(演習含み)
学年・時期	2 年 前期	単位	1 単位	回数・時間数	15 回 (30 時間)
担当教員 mail	三谷 典生 n-mitani@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内 容	理学療法士(衣笠病院、一関病院)	
一般目標(GIO)	患者との対話、評価、治療の実施など、実際の臨床場面で必要な技術を身に付ける				
行動目標(SBOs)	・理学療法士として必要な技術や判断力を実践的に評価することで、能力を向上させる ・患者とのやり取りや評価を通じて、患者中心のケアを適切に実践する力を養う ・症例に応じた適切な治療法や評価を行い、安全で効果的な医療を提供できる能力を身に付ける				
授業概要	1 整形外科疾患別検査 2 整形外科疾患別検査 3 感覚検査 4 感覚検査 5 反射検査 6 反射検査 7 麻痺側運動機能評価 8 麻痺側運動機能評価 9 運動失調検査 10 運動失調検査 11 立位バランス評価 12 立位バランス評価 13 応用演習 14 応用演習 15 履修範囲の振り返り				
学習方略(LS)	・各セクションの初めに講義形式にて、取組みの方法と要点を説明(資料にて事前学習) ・テーマごとの手順に沿って、対象者(学生間)で実践方式でのプラクティスを行う ・テーマごとの要素に沿った検査・評価法単体での練習も求める(事後学習) ・普遍的な対象者を想定した練習から、疾患を想定した実践課程へと移行していく				
学習評価(EV)	・各項目ごとに分かれたステーションを5ブース設置(項目ごとの満点は異なる)(予定) ・課題提示された内容を OSCE 形式にて実施(1ブース辺り 20%換算の配点率)				
単位認定の方法 及び基準	・各項目の合計点の到達点数割合が 60%を合格とする。 修了試験結果が 60%未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2(実習においては5分の4)に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	PT・OT のための臨床技能と OSCE コミュニケーションと介助・検査測定編 金原出版株式会社				
参考書	別途 配布資料、各評価項目が記載されている科目教科書				

令和7年度 授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校

理学療法学科

科 目 名	理学療法技術論(運動器疾患)			授業区分	講義(実技含み)
学年・時期	2 年 前期	単位	1 単位	回数・時間数	15 回 (30 時間)
担当教員 mail	三谷 典生 n-mitani@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内 容	理学療法士(衣笠病院、一関病院)	
一般目標(GIO)	運動器疾患における知識を含め、疾患の程度や罹患した個々の状況を想定した評価方法の選択、検査の実施をし、統合との解釈の理解を深める。				
行動目標(SBOs)	・臨床でポピュラーな疾患の病態生理に関する知識を深める。 ・症例に合わせた検査項目の必要性の理解と、検査手技の正確性を高める。 ・評価から導かれた結果から、治療プログラムの考案と妥当性を考える事ができる。				
授業概要	1 理学療法実施前の注意点(カルテの見方、情報収集等) 2 主訴の解釈、触診・操作方法、アライメントの確認 3 筋力検査(ダイナモメーター)、運動強度と徒手抵抗による負荷の確認 4 ストレッチ、神経筋抑制方法、エクササイズの方法の設定 5 松葉杖の調整・介助方法 6 階段昇降・転倒防止の指導方法 7 車いす工藤と介助方法 8 運動器疾患の画像所見に対する確認と解説 9 腰部疾患に対するリハビリテーション(症状発生に対する解釈) 10 腰部疾患医に対するリハビリテーション(評価、装具の着脱、ポジショニング) 11 コアエクササイズ、腰痛予防 12 腰部疾患に対するリハビリテーション(術前/術後のクリニカルリーズニング) 13 肩関節に対するリハビリテーション(評価～介入方法の設定) 14 骨折に対するリハビリテーション(評価～介入方法の設定) 15 前期範囲の振返り				
学習方略(LS)	講義は基本的に実技を中心として実施する。 適宜、グループワークなどの学生が調べて発表する課題も取り入れて行う。 事前に教科書の該当する部分を予習するとともに、事後学習に取り組むこと。				
学習評価(EV)	・前期期末試験・点数割合:50 点 ・後期近都試験・点数割合:50 点 ・グループワーク課題:点数割合:100 点(計 10 回)				
単位認定の方法 及び基準	通年科目のため、本教科では 120 点以上(200 満点中)を合格とする。 修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の 3 分の 2(実習においては 5 分の 4)に達しない者についての成績評価は D とする。成績評価は、「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	ここがポイント！整形外科疾患の理学療法 第3版 金原出版株式会社				
参考書	スポーツリハビリテーションの臨床 メディカル・サイエンス・インターナショナル				

令和7年度 授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校

理学療法学科

科 目 名	理学療法技術論(運動器疾患)			授業区分	講義(実技含み)
学年・時期	2 年 後期	単位	1 単位	回数・時間数	15 回 (30 時間)
担当教員 mail	三谷 典生 n-mitani@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内 容	理学療法士(衣笠病院、一関病院)	
一般目標(GIO)	運動器疾患における知識を含め、疾患の程度や罹患した個々の状況を想定した評価方法の選択、検査の実施をし、統合との解釈の理解を深める。				
行動目標(SBOs)	・臨床でポピュラーな疾患の病態生理に関する知識を深める。 ・症例に合わせた検査項目の必要性の理解と、検査手技の正確性を高める。 ・評価から導かれた結果から、治療プログラムの考案と妥当性を考える事ができる。				
授業概要	16 高齢者の骨折 17 高齢者の骨折 18 変形性関節症 19 変形性関節症 20 変形性関節症 21 変形性関節症 22 下肢骨折 23 下肢骨折 24 ADL 介入方法 25 ADL 介入方法 26 Physical トレーニング 27 Physical トレーニング 28 道具を用いたトレーニング 29 道具を用いたトレーニング 30 全体の振り返り				
学習方略(LS)	ペーパーペイシエントに対するグループ発表を中心に実施する。 発表毎にフィードバックを行い、具体的な策を提示しながらディスカッションを行う。 事前に模擬症例に対するプランや担当を決め、スムーズに発表できるように取組むこと。				
学習評価(EV)	・前期期末試験・点数割合:50 点 ・後期近都試験・点数割合:50 点 ・グループワーク課題:点数割合:100 点(計 10 回)				
単位認定の方法 及び基準	通年科目のため、本教科では 120 点以上(200 満点中)を合格とする。 修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の 3 分の 2(実習においては 5 分の 4)に達しない者についての成績評価は D とする。成績評価は、「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	ここがポイント！整形外科疾患の理学療法 第3版 金原出版株式会社				
参考書	スポーツリハビリテーションの臨床 メディカル・サイエンス・インターナショナル				

令和7年度 授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校

理学療法学科

科 目 名	理学療法技術論(火傷・癌疾患)			授業区分	講義(実技含み)
学年・時期	2 年 前期	単位	1 単位	回数・時間数	15 回 (30 時間)
担当教員 mail	三谷 典生 n-mitani@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内 容	理学療法士(衣笠病院、一関病院)	
一般目標(GIO)	疾患に対する理学療法の臨床的意義と実際の展開方法を理解し、対象者に理学療法評価と運動処方ならびに理学療法介入が実践できるようになる。				
行動目標(SBOs)	・部位、病期、治療を踏まえた特性を理解し、評価・治療プログラムが立案できる。 ・疾患を患っている対象者に対し、配慮あるコミュニケーションスキルの獲得を目指す。 ・生活の質(QOL)の向上を念頭に、個別性の沿った最善の方法を提案することができる。				
授業概要	1 がんの基礎知識 2 がんの治療 3 肺がん 4 消化器がん 5 乳がん 6 前立腺がん 7 腎がん関連 8 婦人科がん、咽頭部がん、血液がん 9 早期離床に関して 10 リンパ浮腫に関して 11 終末期ケアとQOL 12 有害事象 13 有害事象 14 火傷 15 火傷				
学習方略(LS)	・テーマに対する説明を提示し、セッションごとのテーマに対してのPBLを実施する。 ・テーマごとに指定されたグループは発表・質疑応答、他は発表に対する意見をする。 ・グループワークを以て、情報収集-構成-発表-応対の過程より内部障害の関連知識を学ぶ。 ・事前に教科書の該当する部分を予習するとともに、事後学習に取り組むこと。				
学習評価(EV)	・グループ発表点数割合:60 点(計6回) ・期末試験:点数割合:40 点				
単位認定の方法 及び基準	・上記点数配分にて、本教科では前期履修範囲として 60 点以上(100 満点中)を合格とする。 修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2(実習においては5分の4)に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	がんリハビリテーション実践マニュアル メディカルビュー社				
参考書	最新理学療法学講座 内部障害理学療法学 医歯薬出版株式会社				

令和7年度 授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校

理学療法学科

科 目 名	理学療法技術論 (中枢神経・脊椎・神経内科疾患)			授業区分	講義(実技含み)
学年・時期	2 年 前・後期	単位	2 単位	回数・時間数	30 回 (60 時間)
担当教員 mail	千葉 恵美子 e-chiba@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内 容	理学療法士(国保藤沢町民病院(国保藤沢病院)、 老健ふじさわ、訪問看護ステーション)	
一般目標(GIO)	脳の構造と機能について理解、損傷部位によりどのような経過をたどって回復に至るかについて理解し、具体的な運動療法立案できる。				
行動目標(SBOs)	・脳の機能と運動障害の関係について整理。 ・運動障害となる脳血管障害をはじめとした脳の損傷についての知識の理解。 ・リハビリテーションを行う意義についての理解。 ・治療時のリスク管理が行える。				
授業概要	1: 中枢神経障害の全容 2: 脳血管障害とは 3: 脳血管障害の診断～急性期治療 4・5: 片麻痺患者の評価 6・7: 脳血管疾患の合併症 8～12: 脳血管障害の理学療法 13～15: 演習 16: パーキンソン病とは 17: パーキンソン病の理学療法 18: 運動失調とは 19: 小脳性運動失調の理学療法 20: 頭部外傷・脳腫瘍・低酸素脳症 21: 多発性硬化症等神経筋疾患について 22～30: 脊髄損傷について				
学習方略(LS)	授業は講義、プリント、ディスカッションにて実施する。 学生が調べて発表する課題も含まれる。				
学習評価(EV)	レポート課題及び定期テストにて総合的に評価する予定				
単位認定の方法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が60点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2(実習においては5分の4)に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	総編集: 石川朗 責任編集: 木村雅彦「15 レクチャーシリーズ 第2版神経障害理学療法学Ⅰ・Ⅱ」 中山書店 病気が見える⑦改訂2版 脳・神経				
参考書	適宜紹介				

令和7年度 授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校

理学療法学科

科 目 名	理学療法技術論(内部障害)			授業区分	講義(実技含み)
学年・時期	2 年 前期	単位	1 単位	回数・時間数	15 回 (30 時間)
担当教員 mail	三谷 典生 n-mitani@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内 容	理学療法士(衣笠病院、一関病院)	
一般目標(GIO)	・理学療法に関連する一般的な内部障害の基礎知識を身に付ける ・内部障害によって変化を生じた身体の特性を理解することができる				
行動目標(SBOs)	・リハビリテーションを実施するにあたっての全身状態を吟味することができるようになる ・全身状態を客観的指標と照らし合わせ、リスク管理、包括的なマネジメントを理解する ・身体における症状やコンディションの変化を理解する				
授業概要	1 内部障害理学療法学総論 2 ― (内部障害の定義、疫学、扱う範囲、内部障害の認定) 3 循環器疾患 4 循環器疾患 5 呼吸器疾患 6 呼吸器疾患 7 代謝・内分泌疾患 8 代謝・内分泌疾患 9 腎・泌尿器疾患 10 腎・泌尿器疾患 11 消化器疾患 12 消化器疾患 13 血液・免疫疾患 14 血液・免疫疾患 15 悪性腫瘍関連				
学習方略(LS)	・テーマに対する説明を提示し、セッションごとのテーマに対してのPBLを実施する。 ・テーマごとに指定されたグループは発表・質疑応答、他は発表に対する意見をする。 ・グループワークを以て、情報収集-構成-発表-応対の過程より内部障害の関連知識を学ぶ。 ・事前に教科書の該当する部分を予習するとともに、事後学習に取り組むこと。				
学習評価(EV)	・グループ発表点数割合: 60 点(計6回) ・期末試験: 点数割合: 40 点				
単位認定の方法 及び基準	・上記点数配分にて、本教科では前期履修範囲として 60 点以上(100 満点中)を合格とする。 修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2(実習においては5分の4)に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	最新理学療法学講座 内部障害理学療法学 医歯薬出版株式会社				
参考書	配布資料(各セッションごとのテーマを指定した事前配布資料)				

令和7年度 授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校

理学療法学科

科 目 名	理学療法技術論(内部障害)			授業区分	講義(実技含み)
学年・時期	2 年 後期	単位	1 単位	回数・時間数	15 回 (30 時間)
担当教員 mail	松村 一 h-matumura@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内 容	理学療法士(東八幡平病院、福島整肢療養園、リハビリライフ)	
一般目標(GIO)	解剖学と生理学の基礎的知識が必要です。 代表的疾患の評価と治療ができる 循環機能障害と理学療法について理解できる				
行動目標(SBOs)	心臓リハビリテーション及び理学療法について理解できる				
授業概要	1 循環器の解剖学生理学の復習 2 循環器の解剖学生理学の復習 3 循環器の解剖学生理学の復習 4 過去国家試験問題解説 5 心臓リハビリテーションの概要について説明できる 6 虚血性心疾患の理学療法を説明できる 7 心不全の理学療法を説明できる 8 大動脈疾患の理学療法について説明できる 9 末梢動脈疾患・深部静脈血栓症の理学療法を説明できる 10 運動負荷試験(エアロバイク)および心肺運動負荷試験について説明できる 11 胸部画像の見方や評価について説明できる 12 過去国家試験問題解説 13 循環器疾患のリスク管理 14 まとめ 15 まとめ				
学習方略(LS)	授業は講義、演習を用いて実施する。				
学習評価(EV)	ペーパー試験により総合的に評価する。				
単位認定の方法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2(実習においては5分の4)に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	内部障害理学療法学(医歯薬出版株式会社) 病気がみえる循環器 (メディックメディア)				
参考書	配布する資料				

令和7年度 授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校

理学療法学科

科 目 名	理学療法技術論(小児疾患)			授業区分	講義(実技含み)
学年・時期	2 年 後期	単位	1 単位	回数・時間数	15 回 (30 時間)
担当教員 mail	松村 一 h-matamura@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内 容	理学療法士(東八幡平病院、福島整肢療養園、リハビリライフ)	
一般目標(GIO)	・人間発達学および小児科学で学習した内容を踏まえて、理学療法士として特に臨床場面で携わる疾患の症状、理学療法評価と治療について説明できる。				
行動目標(SBOs)	①理学療法評価学と各疾患の症状をICFで分類できる ②発達障害であることを理解し、各時期における理学療法プログラム立案ができる。				
授業概要	1 脳性まひ痙直型の理学療法評価 2 脳性まひ痙直型の治療プログラム 3 脳性まひアトニーゼ型の理学療法評価および治療プログラム 4 重症心身障害児子供の整形外科疾患の理学療法評価および治療プログラム 5 知的障がい児とその他の発達障がい児の理学療法評価および治療プログラム 6 子供の整形外科疾患の理学療法評価および治療プログラム 7 ダウン症候の理学療法評価および治療プログラム 8 低出生体重児の理学療法評価および治療プログラム 9 呼吸機能障害の理学療法評価および治療プログラム 10 筋ジストロフィー症の理学療法評価および治療プログラム① 11 筋ジストロフィー症の理学療法評価および治療プログラム② 12 二分脊椎の理学療法評価および治療プログラム① 13 二分脊椎の理学療法評価および治療プログラム② 14 小児の補装具・車椅子 15 過去国家試験問題解説				
学習方略(LS)	これまで学んできた「人間発達学」「小児科学」「理学療法評価法」「運動療法」で学んだ知識と技術が要求されます。各教科書を参照しながら実技を通して学習すること。				
学習評価(EV)	筆記試験で総評する。				
単位認定の方法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が60点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2(実習においては5分の4)に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	小児理学療法学 医歯薬出版				
参考書	理学療法評価学				

令和7年度 授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校

理学療法学科

科 目 名	運動療法総論			授業区分	講義(実技含み)
学年・時期	1 年 後期	単位	1 単位	回数・時間数	15 回 (30 時間)
担当教員 mail	千葉 恵美子 e-chiba@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内 容	理学療法士(国保藤沢町民病院(国保藤沢病院)、 老健ふじさわ、訪問看護ステーション)	
一般目標(GIO)	基礎的知識をもとに運動療法理論を理解し、対象者の現象に合わせた運動療法立案及び実施ができる				
行動目標(SBOs)	・運動療法の概念が説明できる ・運動療法の基礎理念が説明できる ・基本的な運動療法について説明でき、実施することができる				
授業概要	・運動と運動療法、理学療法の中の運動療法 ・関節運動 ・筋と筋収縮 ・随意運動と運動制御の生理 ・運動制御と運動学習 ・運動と神経 ・運動と呼吸 ・運動と代謝 ・運動の種類 ・関節可動域運動 ・筋力増強運動 ・持久力増強運動 ・協調性運動 ・バランス運動				
学習方略(LS)	教科書および実技での学習				
学習評価(EV)	定期テストおよび実技テストにて総合的に判断				
単位認定の方法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が60点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2(実習においては5分の4)に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	監修 吉尾雅春「標準理学療法学〔専門分野〕運動療法学 総論」医学書院				
参考書	国家試験問題集等				

令和7年度 授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校

理学療法学科

科 目 名	物理療法学 I			授業区分	講義(実技含み)
学年・時期	2 年 前期	単位	1 単位	回数・時間数	15 回 (30 時間)
担当教員 mail	松村 一 h-matamura@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内 容	理学療法士(東八幡平病院、福島整肢療養園、リハビリライフ)	
一般目標(GIO)	物理療法の目的と種類、適応、効果について説明できる 各種疾患の症状を理解しながら、各物理療法機器を実際に操作できる				
行動目標(SBOs)	物理療法の目的と種類、適応、効果について説明できる 各種疾患の症状を理解しながら、各物理療法機器を実際に操作できる				
授業概要	1 物理療法の歴史・展望 2 温熱の生理的反応と伝導熱 3 ホットパックとパラフィン浴 4 寒冷療法 5 牽引療法① 6 牽引療法② 7 徒手療法 8 マッサージ療法① 9 マッサージ療法② 10 リスク管理 11 過去国家試験問題解説 12 過去国家試験問題解説 13 過去国家試験問題解説 14 まとめ 15 まとめ				
学習方略(LS)	他の教科で学ぶ各疾患の知識が必要となります。各教科書を参考にしながら復習し理解してください				
学習評価(EV)	レポートおよび取組態度、筆記試験により総合的に評価する。				
単位認定の方法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2(実習においては5分の4)に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	物理療法学(医歯薬出版) ・物理療法学・実習(中山書店)				
参考書	配布する資料				

令和7年度 授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校

理学療法学科

科 目 名	物理療法学Ⅱ			授業区分	講義(実技含み)
学年・時期	2 年 後期	単位	1 単位	回数・時間数	15 回 (30 時間)
担当教員 mail	岩淵 隆俊 e.bouzu@gmail.com		実務経験 の 内 容	理学療法士(霞が関南病院、介護老人保健施設せんだんの丘)	
一般目標(GIO)	物理療法の基礎となる物理用語を理解し、説明できる 物理療法の目的と種類、適応、効果について説明できる 各種疾患の症状を理解しながら、各物理療法機器を実際に操作できる				
行動目標(SBOs)	物理療法の基礎となる物理用語を理解し、説明できる 物理療法の目的と種類、適応、効果について説明できる 各種疾患の症状を理解しながら、各物理療法機器を実際に操作できる				
授業概要	1 電磁波の波長と周波数、光の法則、熱、熱伝導、 2 比熱、熱伝導率、振動、波動、音波 3 超短波・極超短波、超音波療法の適応、禁忌 4 超短波療法・極超短波療法、超音波療法の実際 5 光線とは(紫外線、赤外線、レーザー光線) 6 光線療法の種類と適応と禁忌 7 紫外線、赤外線、レーザー光線の実際 8 電流と電圧、周波数、波形と相 9 神経の脱分極、フリュウゲルの法則 10 強さ時間曲線、クロナキシー値、運動点 11 電気刺激療法の適応と禁忌 12 電気刺激療法の種類と実際 13 重力と浮力、水圧の作用、水抵抗、水深と過重負荷の関係 14 水治療法の適応と禁忌、種類 15 過去国家試験問題解説				
学習方略(LS)	授業は講義、演習を用いて実施する。				
学習評価(EV)	ペーパー試験により総合的に評価する。				
単位認定の方法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が60点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2(実習においては5分の4)に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書					
参考書	配布する資料				

令和7年度 授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校

理学療法学科

科 目 名	義肢学			授業区分	講義(実技含み)
学年・時期	2 年 後期	単位	1 単位	回数・時間数	15 回 (30 時間)
担当教員 mail	工藤 英司 e-kudo@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内 容	理学療法士(南昌病院、函館新都市病院、角田病院、介護老人保健施設サンライフえさし)	
一般目標(GIO)	切断のリハビリテーションにおいて、理学療法士は、断端機能を改善させ、適合した義肢で生活動作が獲得できるよう、理学療法を実施する				
行動目標(SBOs)	①四肢切断に関する医学的知識を理解する ②アライメントの概念を理解する ③義肢の構造と各部品について理解する ④下肢切断者の理学療法を理解する ⑤上肢切断への理学療法のかかわりを理解する ⑥社会資源について理解する				
授業概要	1. 切断と義肢の基礎知識 2. 早期義肢装着法と義足適合の流れーアライメントの概念 3. 大腿切断・膝離断の基本と義足構造 4. 大腿義足・膝義足のアライメント 5. 下腿切断・サイム切断の基本と義足構造 6. 下腿義足・サイム切断のアライメント 7. 股離断・片側骨盤切除・足部切断の義足構造とアライメント 8. 下肢切断の評価ー問題点の抽出とその統合 9. 下肢切断の機能障害と義足装着前理学療法 10. 切断原因疾患別にみた理学療法上の留意点 11. 義足装着理学療法と応用動作 12. 義手の分類と構造・機能 13. 上肢切断の評価と治療 14. 義肢装具の支給体系とチームアプローチ 15. 講義のまとめ				
学習方略(LS)	授業は講義、実技を用いて実施する。				
学習評価(EV)	レポートおよび取組態度20%、筆記試験80%により総合的に評価する。				
単位認定の方法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が60点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2(実習においては5分の4)に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	理学療法テキスト 義肢学 石川 朗				
参考書	義肢装具学 第2版 千住秀明				

令和7年度 授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校

理学療法学科

科 目 名	装具学			授業区分	講義(実技含み)
学年・時期	2 年 前期	単位	1 単位	回数・時間数	15 回 (30 時間)
担当教員 mail	松村 一 h-matamura@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内 容	理学療法士(東八幡平病院、福島整肢療養園、リハビリライフ)	
一般目標(GIO)	骨関節疾患や脳・神経筋疾患などにより運動機能障害を呈した人に対して適切な装具療法が実施できるようにするために、装具の基本的な構造と機能を理解し、疾患や障害に適した装具の選択や装具療法を理解する。装具の適合についてチェックアウトの方法を習得する。				
行動目標(SBOs)	・装具の目的について理解する ・装具の3点固定の原理について理解する ・装具制作の流れについて理解する ・装具療法におけるチームアプローチについて理解する ・歩行のバイオメカニクスについて理解する				
授業概要	1. 装具学総論 2. 下肢装具の部品 3. 短下肢装具 4. 長下肢装具・股装具・膝装具 5. 靴型装具 6. 下肢装具のチェックアウト 7. 下肢装具のチェックアウト実習 8. 体幹装具・側弯症装具 9. 上肢装具と自助具 10. 車椅子・歩行補助具 11. 疾患別装具の処方(1)-脳卒中片麻痺の装具 12. 疾患別装具の処方(2)-整形外科疾患の装具 13. 疾患別装具の処方(3)-関節リウマチの装具 14. 疾患別の処方(4)-対麻痺・小児の装具 15. 講義まとめ				
学習方略(LS)	授業は講義、実技を用いて実施する。				
学習評価(EV)	筆記試験により総合的に評価する。。				
単位認定の方法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が60点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2(実習においては5分の4)に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	理学療法テキスト 第2版 石川 朗				
参考書	配布する資料				

令和7年度 授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校

理学療法学科

科 目 名	理学療法特論			授業区分	講義(演習含み)
学年・時期	3 年 前・後期	単位	2 単位	回数・時間数	30 回 (60 時間)
担当教員 mail	千葉 恵美子 e-chiba@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内 容	理学療法士(国保藤沢町民病院(国保藤沢病院)、 老健ふじさわ、訪問看護ステーション)	
一般目標(GIO)	総合実習Ⅰ・Ⅱを実施するにあたって、今まで学んできた知識の整理、実技の復習を実施する。臨床ではどのような場面で危険が隠れているか予測できるようになること。				
行動目標(SBOs)	疾患特性に応じた、理学療法を展開できるよう、今までの知識・技術を整理しながら実施できる。				
授業概要	1-2:理学療法総論 3-8:脳卒中の評価および理学療法について 9-14:整形外科疾患の評価および理学療法について 15-18:呼吸器疾患の評価および理学療法について 19-22:循環器疾患の評価および理学療法について 23-26:廃用症候群の評価および理学療法について 27-30:在宅生活支援について				
学習方略(LS)	講義、実技を含む				
学習評価(EV)	実技テストおよびレポート提出				
単位認定の方法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が60点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2(実習においては5分の4)に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	所持している教科書等				
参考書	適宜紹介				

令和7年度 授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校

理学療法学科

科 目 名	地域リハビリテーション論			授業区分	講義(演習含み)
学年・時期	2 年 後期	単位	1 単位	回数・時間数	15 回 (30 時間)
担当教員 mail	小原 拓也 t-obara@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内 容	理学療法士(介護老人保健施設シルバーヘルスー 関)	
一般目標(GIO)	地域リハビリテーションにおける各サービスのしくみと理学療法士の役割について理解できる				
行動目標(SBOs)	介護保険サービスについて事例を通して理解して説明できる				
授業概要	1地域リハビリテーションの理解 2地域における理学療法士の役割 3介護保険制度の理解 4地域理学療法に求められる医学的対応 5地域理学療法実習課題関係について 6地域理学療法評価と個別アプローチ 7訪問・通所での理学療法 8施設での理学療法 9疾患別 認知症 10 疾患別 中枢神経疾患 11 疾患別 運動器疾患 12 地域理学療法学実習発表 13 地域理学療法学実習発表 14 地域理学療法学実習発表 15 まとめ				
学習方略(LS)	地域リハビリテーションは重要な位置づけです。就職施設でも理解しておく必要があります。 授業は講義、プリント、グループワークにて実施する。				
学習評価(EV)	授業態度、提出物、発表において総合的に評価する。				
単位認定の方法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2(実習においては5分の4)に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	地域理学療法学第2版 医歯薬出版株式会社				
参考書	配布資料				

令和7年度 授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校

理学療法学科

科 目 名	予防医学			授業区分	講義(演習含み)
学年・時期	3 年 前期	単位	1 単位	回数・時間数	15 回 (30 時間)
担当教員 mail	小原 拓也 t-obara@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内 容	理学療法士(介護老人保健施設シルバーヘルスー 関)	
一般目標(GIO)	予防医学の概念と分類、アプローチ方法を理解する。				
行動目標(SBOs)	介護予防に対する適切な考え方を理解できる 介護予防の対策方法を理解し、その実施方法について説明することができる。				
授業概要	1 予防医学の理解 2 予防医学の理解 3 運動による予防 4 運動による予防 5 栄養による予防 6 環境による予防 7 介護予防 8 介護予防 9 介護予防 10 介護予防 11 介護予防 12 介護予防 13 介護予防 14 職場での予防 15 感染症予防				
学習方略(LS)	講義、グループワーク、発表とする				
学習評価(EV)	授業態度、グループワーク、発表含めた成果物により総合的に評価する。				
単位認定の方法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2(実習においては5分の4)に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	リハビリテーション基礎講座 予防学				
参考書	配布資料				

令和7年度 授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校

理学療法学科

科 目 名	生活環境論			授業区分	講義(実技含み)
学年・時期	2 年 後期	単位	1 単位	回数・時間数	15 回 (30 時間)
担当教員 mail	小原 拓也 t-obara@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内 容	理学療法士(介護老人保健施設シルバーヘルスー 関)	
一般目標(GIO)	私たちが生活するうえで生活環境はとても重要である。理学療法士として地域リハビリテーションを展開するうえで、現在の社会的背景を理解し、個々に考えられる生活支援をいかに改善するための立案・提案方法を実践的に習得する。				
行動目標(SBOs)	1:居住環境の整備の一般知識と障害、疾患別の環境調整のポイントについて説明できる。 2:生活障害を理解し、福祉用具・社会生活用具等の種類や活用方法について説明できる。 3:生活障害を理解し、家屋評価と家屋改修、環境整備の理由を説明できる。				
授業概要	1生活環境の概念 2生活環境の評価 3生活環境の評価 4心身機能と生活環境 5心身機能と生活環境 6生活環境支援 7生活環境支援 8片麻痺 9関節疾患 10 高次脳機能障害、認知症 11 地域在住高齢者 12 症例(片麻痺) 13 生活における環境 14 生活における環境 15 国家試験問題				
学習方略(LS)	教科書および実技での学習 ○学習方略のタイプ(ワINSTAインら 1986) カテゴリーのリハーサル方略・理解監視方略を参考としてください。				
学習評価(EV)	筆記試験、授業態度にて総合的に判断				
単位認定の方法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が 60 点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2(実習においては5分の4)に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	Cross Link リハビリテーションテキスト 生活環境学				
参考書	配布資料				

令和7年度 授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校

理学療法学科

科 目 名	臨床実習 I (見学)			授業区分	実習
学年・時期	1年 後期	単位	1 単位	回数・時間数	22 回 (45 時間)
担当教員 mail	三谷 典生 n-mitani@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内 容	理学療法士(衣笠病院、一関病院)	
一般目標(GIO)	医療・保健・福祉機関の見学を主とし臨床実習指導者をはじめ関係スタッフ、対象者(患者、利用者)との関わりを通して、医療従事者としての基本的な態度や言葉遣いについて学び、また理学療法士としての資質を養うことを目的とする。病院・施設の機構・組織、理学療法士の業務及び活動分野における役割を理解することを目的とする。				
行動目標(SBOs)	I 理学療法の対象者との関係性構築 1. 清潔で適切な身だしなみ、言葉遣い、礼儀正しい態度で対象者に接することができる 2. 共感的態度をもって、より良い・善い人間関係を構築することができる 3. 周囲における自己の存在を意識した言動を行うことができる 4. 自らが置かれた立場で、必要とされている要件を認識し、他者や指導者の助言などに対して適切に応答することができる 5. 対象者、家族のニーズ・要望などに対し、自身の感情を制御して接することができる 6. 対象者、家族にとって、相談しやすい雰囲気作りを心掛けることができる II. チーム内での多職種との関係性および理学療法士としての役割 1. 医療職としての心得や職場内におけるルールを守ることができる 2. 部門におけるルールを理解し、診療プロセス(処方の確認、計画書、効果判定、カルテ記録、算定手順など)を理解した言動をとることができる 3. 臨床実習指導者と十分なコミュニケーションを保って良好な関係を維持することができる 4. 積極的に理学療法スタッフや多職種と関わり、良好な関係を構築することができる 5. インシデント・アクシデントが生じた際には実習施設の手順に従って対応することができる 6. 守秘義務を果たし、プライバシーを守ることができる7. 臨床実習施設における多職種連携の展開について見学することができる				
授業概要	1. オリエンテーション 施設概要(組織・機能)、理学療法部門の役割、規則、業務時間 実習中の生活態度 2. 対象者(患者、利用者)とのコミュニケーションの見学・体験 指導者の評価、治療の一部の見学 3. リハビリテーション関連職種の見学や体験 リハビリテーション関連職種の業務内容の見学、体験 4. 実習記録				
学習方略(LS)	臨床実習指導者の臨床実習 I (見学)総合判定、実習出席状況、本校教員によるデイリーノートや経験(見学)省令記録、自己学習ノートの精査、実習終了報告会(セミナー)の成果をもとに総括的評価を行う				
学習評価(EV)	臨床実習指導者評価、実習指導報告書、ポートフォリオを踏まえて、総合的に評価する。				
単位認定の方法 及び基準	当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、全教員で総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が60点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2(実習においては5分の4)に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	教科書全般				
参考書	配布資料				

令和7年度 授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校

理学療法学科

科 目 名	臨床実習Ⅱ（評価）			授業区分	実習
学年・時期	2年 後期	単位	4 単位	回数・時間数	90 回 （ 180 時間）
担当教員 mail	小原 拓也 t-obara@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内 容	理学療法士（介護老人保健施設シルバーヘルスー 関）	
一般目標（GIO）	・理学療法の対象者との関係性構築 ・チーム内での多職種との関係性および理学療法士としての役割の習得 ・一般的態度の習得 ・認知領域の習得 ・精神運動領域の習得				
行動目標（SBOs）	①評価に必要な準備、環境整備ができる。 ②実施する評価の目的や実施方法を指導者に説明することができる。 ③指導者の監視下にて理学療法評価技術（水準Ⅰ）を模倣または実施ができる。 ④評価結果から障害像を把握し、指導者に説明ができる。				
授業概要	1: 模擬症例を通して患者の状態に合わせた評価の実施 2: モデル症例に対するリスク管理の実践 3: 臨床実習施設にて理学療法評価を個々の対象者の状態に合わせて協同参加および実施 4: 理学療法業務の見学 5: 実習に必要な自己学習 6: SOAP等の診療記載 7: 臨床実習指導者や他職種、対象者とのコミュニケーション 8: 健康管理				
学習方略（LS）	臨床参加型実習形態にて臨床推論および専門性を習得する				
学習評価（EV）	臨床実習指導者評価、実習指導報告書、デイリーノートを踏まえて、総合的に評価する。				
単位認定の方法 及び基準	当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、全教員で総合的に勘案して行う。ただし、修了試験 結果が60点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者につ いての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	教科書全般				
参考書	配布資料				

令和7年度 授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校

理学療法学科

科 目 名	臨床実習Ⅲ(総合)			授業区分	実習
学年・時期	3 年 前・後期	単位	16 単位	回数・時間数	360 回 (720 時間)
担当教員 mail	千葉 恵美子 e-chiba@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内 容	理学療法士(国保藤沢町民病院(国保藤沢病院)、 老健ふじさわ、訪問看護ステーション)	
一般目標(GIO)	1)実習生としての責任の遂行 2)理学療法の理論および技術の応用 3)医療・保健施設の組織や機能に関する知識の習得 4)専門職としての資質の養成				
行動目標(SBOs)	①治療に必要な準備、環境整備ができる。 ②患者に適した理学療法治療の目的や実施方法を指導者に説明することができる。 ③指導者の監視下にて理学療法治療技術(水準Ⅰ)を模倣又は実施ができる。 ④治療結果から障害像の変化を把握し、予後や目標設定、生活支援方法等を指導者に説明ができる。				
授業概要	1:模擬症例を通して患者の状態に合わせた評価および治療の実施 2:モデル症例に対するリスク管理の実践 3:臨床実習施設にて理学療法評価および理学療法が個々の対象者の状態に合わせて協同参加および実施 4:障害像から予後予測や目標設定 5:理学療法業務の見学 6:実習に必要な自己学習 7:SOAP 等の診療記載 8:臨床実習指導者や他職種、対象者とのコミュニケーション 9:健康管理				
学習方略(LS)	臨床参加型実習形態にて臨床推論および専門性を習得する				
学習評価(EV)	臨床実習指導者評価、実習指導報告書、ポートフォリオを踏まえて、総合的に評価する。				
単位認定の方法 及び基準	当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、全教員で総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が60点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2(実習においては5分の4)に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	教科書全般				
参考書	適宜配布				